

海外留学の手引き

Study Abroad Student Guide



海外留学の手引
平成22年4月

京都大学留学生課
〒606-8501 京都市左京区吉田本町
Phone : 075-753-2561
FAX : 075-753-2562
<http://www.kyoto-u.ac.jp/>

平成22年4月
京都大学留学生課

はじめに

この冊子は、海外留学を考える京都大学生を対象に作られています。

近年、留学が非常に身近になり、異なる文化や価値観に触れ、視野を広げて学べる機会が増えてきました。

しかし、「海外旅行の延長」というような安易な気持ちで留学した結果、様々なトラブルに巻き込まれたり、途中で挫折したりするケースも、同時に増えています。

留学にはそれ相応の計画が必要であり、「あこがれ」だけでは、留学の目的にも決定理由にもなりません。大切なのは、あなた自身が調べ、よく考え、どんな結果も自分が受け止めるという覚悟をもって決めていくことです。

「留学してよかった」と言える留学にするための一助として、この冊子を役立ててください。

目次

はじめに	1	◆派遣留学について	16 ～ 36
◆海外留学の種類	3	1. 派遣留学の流れ	
◆海外留学準備のタイムテーブル	4	①学内選考への応募	16,17
◆海外留学について	5 ～ 15	②派遣先大学への出願	17
1. 計画から帰国まで		③入学許可、渡航準備	17
①留学計画	5	④留学生活	17
②情報収集	5	⑤帰国	17
③教育機関の選択	5,6	⑥帰国後の手続	17
④費用	6	2. 派遣留学経験者の言葉	19,20
⑤奨学金	6,7	3. 派遣留学に関する Q&A	21,22
⑥出願	7,8	4. 大学間交流協定一覧	23 ～ 26
⑦合否通知・入学手続	8	5. 部局間交流協定一覧	27 ～ 36
⑧日本にいる間にできること	8,9	◆留学関連資料リンク集	37
⑨渡航手続	9,10		
⑩留学生活	10,11		
⑪帰国	11		
2. 海外留学経験者の体験談	12 ～ 15		

海外留学を思い立ったら、まずどのような留学がしたいか、考えてみましょう。語学力を伸ばしたい、海外を経験したい、師事したい教授がおられる、研究に必要な資料が豊富にある・・・個人それぞれの目的によって、留学の期間や形態はさまざまです。自分の目的に沿った行き先や留学の種類を決めましょう。

●語学留学

休暇を利用した数週間程度のものから休学して行く一年程度のものまで。自分で直接、あるいは業者を通じて申し込みます。生協でも数多く扱っています。

●国際ボランティア活動

社会貢献などのための留学です。団体の主旨、歴史、実績などを十分に考慮して選びましょう。

●海外インターンシップ留学

職業研修として海外の企業や団体で一定期間働き、職業経験と海外での社会経験を積むための留学です。団体の実績や費用等を他団体と比較するなどして、十分な調査を行ったうえで決定してください。京都大学では主に文系の学生のための AIESEC（アイセック）、主に理系の学生のための IAESTE（イアエステ）という学生サークルがあり、京都大学内でも年に数回、説明会を開いています。また、日欧産業協力センターによる、日本の理工系学生を対象とした一年間の奨学金付プログラム（ヴルカヌス・イン・ヨーロッパ）などもあります。現在はインターネットで多くの情報を入手することができますので、積極的に情報を収集してみましょう。

AIESEC	www.aiesec.jp
IAESTE	www.iaeste.or.jp/jp/
日欧産業協力センター	www.eu-japan.gr.jp/japanese

●派遣留学（交換留学）⇒詳細は pp.16 ～ 36 参照

京都大学が海外の大学と締結している大学間・部局間の学生交流協定に基づく、一学期以上、一年以内の留学です。実際の出発の一年～一年半ほど前に実施される京都大学内での学内選考に応募し、推薦が決定すると、京都大学留学生課を通じて派遣先へ出願します。学内選考の募集通知・応募は所属学部、研究科を通じて行われます。

●大学院・学部への一般留学

休学して聴講生等の身分で留学する、学位取得を目的としない短期留学や、京都大学を卒業または退学した後の、学位取得を目的として正規の学生として入学する長期留学等があります。出願はすべて自分で行うことになります。留学予定の大学院生向け奨学金には、京都大学を通じて推薦するものもあります（p7 参照）。これらの募集通知、応募は所属研究科を通じて行われます。

ここでは、海外留学の中でも、特に多くのみなさんが関心を持っている派遣留学、一般留学、語学留学のための手続のタイムテーブルを参考までに示します。留学先の国・機関、留学方法、留学時期などにより、準備期間や審査時期等に差があるので、各自が必ず自分自身の状況を確認してください。

本冊子 参照 ページ		2011 年秋出発の大学間学 生交流協定校への派遣留学 の一例	大学院・ 学部への 一般留学	語学留学	
p. 5	留学計画	留学の動機・目的・国や地域・時期・資金・語学力、家族や指導教員の同意等があるか確認する。	2010 年春 [1 年半前]	1 年半前	6 ヶ月前
	↓				
p. 5	情報収集	日本学生支援機構留学情報センター、各国大使館等、留学フェア、インターネット、情報誌等で、行き先や奨学金の情報を集める。身近な経験者の体験談をきく。	英語圏大学希望者は TOEFL あるいは IELTS 受験（スコ アは学内選考必須書類）	民間奨学金 の準備	5 ヶ月前
	↓				
	資料請求	候補校に学校案内・願書を請求する。返答があまりに遅いときは、催促も必要になるので、いつ誰に連絡をしたか記録を残しておくこと。多くの大学でウェブサイトから情報を入手、学校案内を請求することができる。	願書・資料は留学生課が保 存（部局間学生交流の資料 は当該学部・大学院事務室 に問い合わせること）		
	↓				
pp.5-6	教育機関 の選択	資料に基づき学校をしぼる。 派遣留学 → 2 校 一般留学 → 10 校ぐらい			4 ヶ月前
	↓				
pp.7-8	出願	必要書類を揃え、締切まで十分な余裕をみて出願。	2010 年 9 月頃に大学間学 生交流協定校への学内選考 願書締切（部局間学生交流 協定は、当該学部・大学院 事務室に尋ねること）。その 後、京都大学を通じて派遣 先大学へ出願。	1 年前	3 ヶ月前
	↓				
p. 8	合否通知・ 入学手続	入学許可書などの書類を受け取る 一般留学の場合、授業料等を送金。滞在先を確認。			
	↓				
p. 9	渡航手続	海外渡航届、緊急連絡先の届出など、京都大学での手続を済ませる。旅券・ビザの申請。予防接種。海外留学生保険、航空券の手配。外貨、クレジットカードの用意。知識面、コミュニケーション面の準備。国別安全情報、防犯対策の確認。	2011 年初夏 [1 - 2 ヶ月前]	1 - 2 ヶ月前	1 - 2 ヶ月前
	↓				
pp.10-11	留学生生活	住所変更があれば、速やかに日本の家族・現地大使館・京都大学へ連絡先を通知。安全の確保。カルチャーショックへの対応。			
	↓				
p.11	帰国	帰国のための諸手続。報告書提出など、京都大学での手続を済ませる。逆カルチャーショックへの対応。			

1. 計画から帰国まで

①留学計画

留学計画は、すぐに答えが出ることばかりではなく、わからなかったり迷ったりすることもあるでしょう。しかし、留学準備期間中から、自分の選択肢を把握し、優先順位をつけて決断する練習を積んでおくと、留学先でもとても役立ちます。また、留学前から目的意識を持ち、準備を厭わず、自分なりの努力をしておくと、留学先で苦境に立った時にも、自分にとって何が大切かを見極めて行動できます。留学の基盤になる最初のステップを、きちんと踏んでおきましょう。

語学試験の受験、カタログの請求、留学先の情報収集、費用の準備等、留学には相当の準備期間が必要です。大学・大学院は1年半以上、語学学校は半年以上必要です。十分な準備期間を確保し、出発時期も余裕を持って決めましょう。

②情報収集

最近では、ほとんどの国や大学が最新情報をウェブサイトに掲載しています。興味を持った時点で、いろいろな大学のウェブサイトを開覧、比較してみましょう。オフィシャルな情報からは伝わってこない貴重な情報源ですので、周囲の経験者の体験談もきいてみましょう。京都大学からの派遣留学生、派遣予定者で構成される団体「ESSK」(Exchange Students Supporters in Kyoto University)があります。下記サイトに掲載されている体験談を参考にしたり、メールで相談してみましょう。

<http://star.ap.teacup.com/essk/>

また、独立行政法人 日本学生支援機構（JASSO）海外留学情報ページでは、海外留学を考えるときに必要な情報、各種奨学金情報、海外留学に役立つ情報が掲載されています。

www.jasso.go.jp/study_a/oversea_info.html

●留学に関する相談

独立行政法人 日本学生支援機構（JASSO）留学情報センターでは、専門の留学相談員・職員による海外の大学・専門学校・語学学校の状況や留学手続きなどについての相談が無料で行われています。海外留学のための奨学金についての相談もできます。

www.jasso.go.jp/study_j/info.html

京都大学国際交流センターでは、海外留学担当の教員が海外留学についての相談に応じています。相談の際には、事前にメールで予約を取ってください。

長山 浩章 教授 h.nagayama@aw8.ecs.kyoto-u.ac.jp
青谷 正妥 准教授 aotani@aoitani.net にメールで状況説明後、075-753-2568 に電話

*大学間交流協定校への派遣留学に関しては、留学生課（yukie.okada@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp）又は ryuga561@mail.adm.kyoto-u.ac.jp）へお尋ねください。

③教育機関の選択

教育機関を選ぶにあたり、確認すべき情報として以下のことが挙げられます。

項 目	要 点
◆留学先の国の教育制度について	
1. 入学に必要な学歴は？	日本の高校卒業後すぐには現地の大学への入学資格がない国もある。
2. 修業年限、取得できる単位や資格は？	国・専攻により異なる。
3. 学年度・学期制は？	入学時期が日本と異なる国も多い。
◆教育機関について	
1. 認定を受けているか	非認定校では、ビザが取得できなかったり、進学・転学・就職の際にデメリットがある国もある。
2. 入学に必要な学力・語学力は？	TOEFL などの語学試験の受験が必要な場合もある。
3. 学費・生活費はいくら？	自国の学生と外国人留学生で学費が異なる国もある。
4. 出願・手続方法は？	締切日前でも応募が定員に達すれば募集を打ち切る場合もある。
5. 環境、施設、住居、保険、各種相談先は？	留学先校が紹介してくれる場合もある。
◆入国・滞在に必要な手続	ビザ取得は必要か。保証人・健康診断・予防接種等は必要か？

教育機関の選択は、留学準備において非常に重要なポイントです。次頁の項目を総合的に考慮して、出願校の絞り込みに役立ててください。希望の条件がすべてかなうことは非常に難しいので、妥協も必要ですが、自分が留学に求めている条件をよく吟味して、優先順位をつけましょう。

(1) 専攻分野

自分の希望する専攻分野に関するプログラムが充実している学校を調べます。

(2) 学位について

派遣留学の場合は、留学先の大学の学位は取得できません。一般留学で学位等の取得を目的とする場合は、どのような種類の学位や資格を目的とするか決め、それが日本のどの学位に当てはまるのかを確認することが重要です。

また、一般留学で学位等の取得を目的としない場合には、non-degree student、visiting student といった在籍身分がありますが、その際の入学資格、日本の大学等との単位互換の可能性などを調べる必要があります。

(3) 必要な語学力

留学先の教育機関の種類が決まったら、まずは必要な語学試験を一度受験して、あなたの現在の語学力を見極めましょう。基準点に達していない場合は、希望得点が得られるまで何度でも受験する覚悟が必要です。現地語で授業を受けるには、講義を理解し、授業の討論に参加し、テキストを読み、レポートや論文を作成できるだけの、一定の学力と語学力が必要だからです。京都大学の外国人教員の先生方のご意見によれば、留学に際し、当該外国語の実質学習時間は最低 400 ～ 500 時間必要とのことです。

*主な語学・学力テスト情報 www.jasso.go.jp/study_a/oversea_info_03_02.html

(4) 設置基準や認定状況

日本の大学はすべて、文部科学省（国）によって高等教育機関として認定されていますが、認定のシステムは留学先の国によって異なります。留学後の進学や就職、転校、転部等の際に、留学先で取得した単位や学位が十分に評価されるよう、希望校の設定基準や認定状況に注意してください。

(5) 学習環境等

教育機関のタイプ（教育中心か研究中心か）、学生総数、設置区分（公立か私立か）、所在地域の環境・治安、留学生アドバイザー・語学補習プログラムの有無などの条件があります。

(6) 住まい

学校に寮があるのか、宿舍情報の提供があるか、アパートやホームステイが可能かなどを事前に確認する必要があります。

④費用

学費、生活費、その他の必要経費は、留学の種類、留学期間、国や地域、個人の生活レベルによって異なります。大体の条件を決め、経費を計算してみましょう。日本での準備費用には、日本で加入しておく海外旅行保険、渡航費、一時宿泊費、旅券申請費、語学試験費などがあり、渡航先での費用には授業料、教科書・文具費、住居・食費、現地医療保険、雑費等があります。準備できる留学資金や奨学金の可能性について、慎重に検討してください。アルバイトによる収入は見込まないようにしましょう。

⑤奨学金

大学を通して応募するもの、個人応募するもの、また留学の種類、留学先、専攻分野によってさまざまな奨学金があります。京都大学の学生を対象として募集があったものは京大ウェブサイト内「海外へ留学する日本人学生向奨学金」に随時掲載していますので、こまめにチェックしてください。

www.kyoto-u.ac.jp/ja/education/international/students3/guide/scholarship/index.htm

次頁の表は、京都大学の学生を対象として募集があったものの中で、京都大学が学内審査を行ない、その結果選ばれた学生の書類を奨学団体に送付する奨学金について、2009 年 3 月現在の実績を元に作成されています。年度によって変更がありますので、あなたが所属する学部・大学院の掲示板等をよく注意してみてください。募集締切は奨学団体の締切です。学内審査のために、あなたが所属する学部・大学院の締切日は、奨学団体の締切日より一ヶ月以上早くなる場合が多いので、気をつけてください。

この一覧表以外にも、独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）が毎年発行する「海外留学奨学金パンフレット」に、様々な奨学金が紹介されていますので、以下のサイトを参照し、不明な点は当該奨学団体に直接問い合わせてください。

www.jasso.go.jp/study_a/scholarships.html

●大学を通して応募する奨学金

奨学金名	支給対象	派遣先	支給内容	支給期間	募集時期	募集締切
京都大学 「留学派遣」 p22 参照	大学間学生交流協定 に基づいて協定校に 派遣される者	大学間学生交 流協定校	地域別 渡航費の助成 (5 ～ 15 万円)	12 ヶ月以内 の留学期間	――	――
日仏共同博士課程 (コレージュ ドクト ラル フランコ ジャ ポネ)	博士後期課程在籍者	フランス コ ンソーシウム 加盟校	授業料免除 月額 8 万円の奨学 金	6 ヶ月以上 12 ヶ月以内 の留学期間	10 月下旬	2 月下旬
日本学生支援機構 留学生交流支援制度 (長期派遣)	海外の大学等で修 士・博士取得を目的 とする者	地域限定なし	月 額 10.2 ～ 17.0 万円、授業料	博士 3 年 修士 2 年	12 月 月上旬頃	12 月 月下旬頃
(財) 国際文化教育 交流財団 日本人海外派遣奨学 生	日本国籍の者 財団指定の日本の大 学院在籍者	地域限定なし	授業料・往復渡航 費・語学研修費補 助・生活費補助	24 ヶ月以内	3 月中旬	9 月下旬

⑥出願

志望校の資料をもとに、さらに学校を絞り込み、出願に必要な手続や書類を確認します。多くが書類提出や事前のテスト結果等による書類審査なので、出願書類は可能な限り自己の能力や資質などをアピールするよう心がけて準備することが必要です。願書の締切日は、事前に必ず確認し、十分余裕を持って出願してください。また、出願書類は、全て控えをとり、送付日を記しておくことをお勧めします。
＊特に未成年の学生は、留学をすることに対して、保護者の同意が必要です。また帰国後の進路に関しても、留学前に指導教員と十分な相談をしましょう。

●入学にもとめられる出願書類の一例
(語学留学の場合は＊の 3 点のみが一般的です。)

＊願書 ＊財政能力証明書 ＊申請料 ・卒業（在学）証明書 ・成績証明書 ・テストスコア ・健康診断書	(追加書類) ・エッセイ（小論文） ・推薦状（2 - 3 通）
--	---------------------------------------

●書類審査での注意点

あなたにとっては些細なことであっても、多数の書類から候補者を選ぶ担当者にとって、見づらい書類は評価がしにくく、結果的にあなたに不利になる場合があります。自分に甘えず、心して書類を準備しましょう。

a. 書類の校正

書類は、コピーをとりそれで下書きを済ませ、原本に清書するのが最善策です。文章は主旨が一番大切ですが、わかりやすさ・見やすさなどの体裁も重要です。乱雑なもの、誤字・訂正の多いものは、いい加減な内容に見えてしまいます。

b. 締切

願書締切は、全ての候補者に公平に課せられた最初の関門です。それに遅れる場合は、不利益を受けても仕方がないと考えてください。関連書類の準備にかかる時間、郵便事情、不慮の出来事など、あなたの計画では予測できない事が、常に存在します。こうした不測の事態に影響を受けぬよう、全ての書類が、十分な余裕を持って締切前に届くように準備することが鉄則です。

c. 小論文（エッセイ）の提出

願書以外に小論文の提出が求められる場合があります。アルファベットを使用する諸国では特に、手書きではなく適切なフォントのワープロ印刷で提出を求められることがほとんどなので、印刷した紙の末尾に、本人の直筆で署名と日付を入れましょう。署名は日本語でもアルファベット（筆記体）でもかまいません。

⑦合否通知・入学手続

予定した頃に通知が届かなければ、直接学校に審査状況を問い合わせましょう。志望校から合格通知が届いたら、同封されているものを確認し、入学受諾の返事をしなければなりません。入学する意志のない学校には、速やかに入学辞退を知らせるのが礼儀です。
合格通知の中身は、入学許可書、授業料の請求書、宿泊施設の案内などです。特に入学許可書は学生ビザの申請時に必要となりますので、自分の名前、コース受講期間など、記載事項に誤りがないかを確認してください。そして、各書類に記されている指示に従って、指定期日までに必要な手続を完了させましょう。

⑧日本にいる間にできること

(1) コミュニケーション能力の向上と知識面の準備

海外留学経験者についての調査結果では、語学力が高いほど留学先での異文化適応が早く、その成果も大きいという報告があります。ここからも、事前に語学の勉強をしっかりとしてから留学することの大切さがわかります。
海外留学では特に、自らが人に話しかけ、出会い、知り合う機会を作らないと、ネットワークはいつまでたっても広がりません。対象を留学生に限らず、日頃よく見かけて気が合いそうなのに話をしたことがない人に対しても、この姿勢を今から養ってみましょう。
また、留学生が「民間大使」に例えられるように、留学先の人々はあなたを通して日本を知ることになります。外国語で日本の社会情勢、文化、生活習慣、料理などを紹介している書籍等を活用し、留学先で簡単に説明したり実演したりできるように準備しておく、自己紹介のきっかけにもなります。言葉が少々不自由でも、一緒に物を作ったり、スポーツをしたりすることがきっかけとなって、コミュニケーションがスムーズになることがよくあります。

(2) 京都大学でできる情報収集・語学準備・国際交流

- ・「留学のススメ」に参加する・・・国際交流センターおよび留学生課では、海外留学や海外インターンシップの説明会、学生交流協定校からの学生、および派遣留学経験者の京大生による協定校紹介などの説明会「留学のススメ」を年間を通じて行っています。日時や場所等の詳細は開催日が近づくと、京大ウェブサイトで紹介されます。
www.kyoto-u.ac.jp/ja/education/international/students3/susume/
- ・KUINEP 講義を受講する・・・京都大学国際教育プログラム KUINEP を受講してみませんか。KUINEP は、英語講義を受講し、英語でレポート提出や試験を行なうプログラムで、全学共通科目として各科目半期 2 単位が認定されます。母国語以外の言語で授業を円滑にこなすために、どのような準備や対策が考えられるかがわかります。
www.kyoto-u.ac.jp/ja/education/international/program/kuinep/
- ・KCJS/SCTI 英語講義を聴講する・・・単位にはなりませんが、アメリカの学生が日本について学ぶ英語講義に聴講生として参加する「KCJS/SCTI 英語講義聴講制度」もあります。アメリカの講義の雰囲気に触れる絶好のチャンスで、多くの留学予定者、留学経験者が参加しています。
www.kyoto-u.ac.jp/ja/education/international/program/kcjscti.htm/
- ・留学生ラウンジ「きずな」に行く・・・留学生ラウンジ「きずな」では学生交流協定校をはじめとする海外留学関係の資料が閲覧できます。また、毎月、留学生との交流イベントも行なっていますので、ぜひ参加してみてください。毎週木曜日 16：30 からは、学生交流サークル iAT による "International Afternoon Tea" という自由参加の国際交流活動も行われています。
www.kyoto-u.ac.jp/ja/education/international/facilities/kizuna/

- ・**留学生との交流**・・・京都大学に留学中の諸外国の学生との語学や文化交流を希望する場合は、自作の掲示物を留学生課にお持ちください。学生証を確認のうえ、留学生がよく目にする、留学生課の掲示板に一ヶ月間、掲示します。
また、京大大学生主宰の「Language and Cultural Exchange Partner System」というプログラムにも下記 URL から応募できます。
<http://kulceps.blogspot.com/>

⑨ 渡航手続

渡航に必要な諸手続は、以下の項目を参考にチェックリストなどを作成して効率よく行ないましょう。三ヶ月以上の留学の場合は、所属学部・研究科の窓口へ海外渡航届等を出す必要があります。出発前に所属学部・研究科の規則に従い、届出を出してください。

(1) パスポート（旅券）

パスポートは早めに取得しましょう。残存有効期間が 1 年未満なら、留学出発前に新しいパスポートに切り替えることができるので、留学途中で有効期限が切れたりしないように手続をしてください。

(2) ビザ（査証）

必ず学生ビザを取得してください。国によって、ビザの要・不要、必要書類、発行までに要する時間、申請手数料などが異なります。また、ビザ発行の規定も予告なく変更されることが多いため、必ず直接関連機関に問い合わせ、余裕を持って手続を行ないましょう。

(3) 予防接種

出願時または入学時に、予防接種を要求する国や学校があるので、事前に志望校に確認しましょう。また、自分の身を守るという観点からも、破傷風、肝炎等、地域に応じて必要と思われる予防接種は受けておきましょう。

＊（財）日本検疫衛生協会 <http://www.kenekieisei.or.jp/>

＊海外渡航者のための感染症情報（厚生労働省検疫所サイト） <http://www.forth.go.jp/>

(4) 海外旅行保険

保険制度は国により様々で、留学生に対する扱いも異なっています。不慮の事故や病気に備えて、各自で留学前に海外旅行保険に必ず加入してから出発してください。その際には、保険の適応範囲、限度額、留学先近辺の支店などを、十分比較検討してください。また、国によっては指定された保険への加入が義務付けられていますので、保険適応範囲を確認し、不足の部分を日本で加入してから渡航してください。クレジットカードについている保険では、補償が不十分なものが多いので、別途、海外旅行保険に加入することを強く勧めます。

(5) 航空券

1 年間帰国する予定のない人は、帰国日の変更が可能なオープンチケットを利用できます。学校開始日より少し早めに渡航し、滞在先や学校周辺の様子を把握するなど、現地の生活に慣れることも重要です。

(6) 荷 物

出発当日の荷物は必要最小限にし、動きやすい服装で出発しましょう。日本語と現地語の辞書類、旅行書などを持って行くと便利です。当座必要な身の回り品は携行し、それ以外は別送や現地調達が賢明でしょう。荷物は、郵便局や運送会社から船便や航空便等で送ることができます。

(7) 外貨・クレジットカード・送金

当座の生活に必要な金額を、現地通貨の現金とトラベラーズチェックで携行するとよいでしょう。クレジットカードが利用できる国であっても、日本から携行したカードがうまく機能しない場合に備えることが大切です。留学が数ヶ月以上にわたる場合は、現地で銀行口座を開設し、日本から送金してもらうのも安全な方法のひとつです。

(8) 健康面の準備

持病のある人や健康上心配のある人は、出発前にかかりつけの医師に相談しましょう。アレルギーや常備薬等について、事前にアドバイスを受けておく必要があります。医師の処方箋がないと薬を買えない国もあります。自分がこれまで受けた予防接種等についても把握しておき、関連の英単語・現地語をあらかじめ調べておきましょう。

歯の治療は、原則として海外旅行保険の対象外であることが多く、国による治療技術にもばらつきがありますので、出発前に治療をすませておきましょう。

(9) 国別安全情報・防犯対策の確認

外務省海外安全ホームページ（www.anzen.mofa.go.jp）で、渡航先の安全情報や防犯対策を確認しましょう。この情報は、あなたの身の安全を守るために重要な情報であり、随時更新されるものですので、必ず出発直前にも行なってください。

⑩ 留学生活

(1) 家族への連絡

渡航して数ヶ月の間は、家族への連絡をこまめに行なってください。特に、留学先の大学に到着する前に、旅行や知人を訪ねる予定のある人は、定期的に日本の家族に連絡してください。

災害や大事故のあった場所から遠く離れていても、同じ国を旅行中であるというだけで、家族は心配をするものです。ちょっとした心がけで、日本にいる家族や日本国大使館・領事館（在外公館）に迷惑をかけずにすむので、こまめな連絡を実践してください。

(2) 生活環境をととのえる

まず、留学先の機関にある国際交流・留学生担当の事務室を訪ねましょう。機関によっては、留学生に特に役立つサービスや、地域情報、他の留学生との情報交換のための掲示板、カウンセリングなどを提供している場合があります。

はじめは、寝具・勉強机・食器・文具など、当座の生活に必要な基本的生活用品を整えましょう。帰国前に転売できるものや中古品を上手に利用するとよいでしょう。また、自分の所属事務室、警察の電話番号、住居付近の環境を調べておきましょう。

(3) 京都大学への連絡と在留届提出

派遣留学の場合は、大学に到着して連絡先（住所・電話番号・メールアドレス等）が決まったら、京都大学に簡単な連絡を入れてください。連絡先は、部局間交流協定に基づく派遣生はあなたの学部・大学院事務室、それに加えて、大学間学生交流協定に基づく派遣生は京都大学留学生課です。

現地に 3 ヶ月以上滞在する場合、在留届を日本国大使館・領事館（在外公館）に提出してください。海外在留邦人の事件、事故、被災などの際に、「在留届」があれば安否の確認、緊急連絡、救援活動、留守宅への連絡等がより迅速になります。郵送、ファックスのほか、インターネットによる電子届出も可能な場合があります。（www.ezairyu.mofa.go.jp）

(4) 安全の確保と危機管理

長年の習慣から留学先でも、つい日本と同じ感覚で行動してしまったり、逆に、留学先での解放感のために日本ではやらないようなことまでしてしまう人がいます。しかし、京都大学で学ぶ留学生に気づくのがそれほど難しくないように、あなたが留学生だということは渡航先の国の人には恐らくわかります。そういう意味では、あなたは常に、旅行者と同様に犯罪の標的にされやすいのです。現地の人なら多分大丈夫、ということでも、経験のないあなたには危険という場合もあります。安全を確保するための要点を以下に示しますので、ぜひ心がけてください。

- ①他人を当てにせず、自分の身は自分で守る。
- ②外出時だけでなく、学校内、自宅でも警戒を怠らない。
- ③現地の習慣・風俗を尊重し、現地の人以上に安全に気を使う。
- ④狙われやすい格好や隙のある行動をしない。
- ⑤よく知らない人を安易に信用しない。
- ⑥自分の名前、住所、電話番号、所持金などについて話さない。
- ⑦絶えず情報収集に努め、迷ったときには、より安全な選択肢を選ぶ。

(5) カルチャーショックへの予備知識

カルチャーショックとは、異文化環境で生活するときに、今まで自分の国や文化で培ってきた言葉や習慣や行動様式などが通用しないことに対して起こるショック状態のことで、異文化適応のための自然な過程です。カルチャーショックは、単なる表面的なものにとどまらず、自分自身の根幹である考え方、生き方、存在そのものを揺るがす場合もあり、その影響が疲労感、あせり、不安、神経質、憂鬱、睡眠不足、摂食障害、対人恐怖症などとなって現れることもあります。

大切なのは、カルチャーショックについてあらかじめ知っておき、実際にカルチャーショックを感じたときに、身近なアドバイザーやカウンセラー、友人に気軽に相談することです。

カルチャーショックを肯定的に受け止め、「ここではそうなんだ」という風に違いを違いとして認め、自分なりにその困難を乗り越えられれば、自国と他国の長所と短所を冷静に比較できる目を持つことができるようになります。さらに、どちらの文化でも状況に応じて臨機応変に行動を使い分ける能力が培われることでしょう。

(6) 健康管理

日本での生活とは異なり、食事や生活のリズム、環境の変化から体調をくずすことがありますから、健康管理には十分注意しましょう。留学生活と日本での生活での大きな違いは、親・親戚・友人などのネットワークが留学当初にはないことです。そのため、もしもの時に頼れる人が多くありません。体調がすぐれないときは、早めに対処して、大事に至らないようにしましょう。

(7) 悩みごとがあるとき

留学中に、当初予想もしなかった深刻な状況に陥ったり、深く悩むことがあったら、一人で悩まずに、必ず誰かに相談して助けを求めてください。あなたの状況がよくわかる留学先のカウンセラー・友人、日本の家族などが最適と思われますが、それでも困ったときには一人で悩まずに留学生課（ryuga561@mail.adm.kyoto-u.ac.jp）に連絡してください。

⑪ 帰 国

(1) 帰国の準備

慌しい準備に追われて大変な時期ですが、「立つ鳥跡を濁さず」ということわざにもあるとおり、きちんと後始末をして、気持ちよく日本へ帰りましょう。購入した書籍を日本に輸送したり、家具を処分したり、電気、ガス、水道、電話、郵便物、銀行などの契約停止、航空券手配などを行なう必要があります。また、お世話になった方々へ簡単な挨拶をし、日本国大使館・領事館（在外公館）へ帰国届を提出することを忘れないでください。

(2) 帰国後の手続

大学間学生交流協定による派遣学生は、帰国後派遣先大学より成績証明書を受け取ったら、留学生課へ報告書を提出してください。部局間学生交流協定による派遣学生は、所属の学部・大学院事務室に出向いて、必要な手続を早めにすませてください。

三ヶ月以上の留学をした学生は、所属学部・研究科の規則に従い、帰国届等を出す必要がありますので、速やかに所属の学部・大学院事務室に確認してください。

(3) 逆カルチャーショックへの予備知識

海外留学後に日本の社会に復帰するにあたって直面する適応上の問題や心理的葛藤を、「逆カルチャーショック」といいます。逆カルチャーショックを体験し、再適応が必要になったのは、ひとえに、あなたが留学先の文化にうまく適応できたからです。留学生活当初の葛藤を乗り越えてきたことを思い出し、逆カルチャーショックも肯定的に受け止めて、月日が解決してくれると考えて、あまり焦らないようにしましょう。自分の置かれた環境をよく観察し、そのなかで自分が何を期待し、何をしたいのかを考え、どのようにしたら「留学体験」をこれからの進路に生かせるかを考えましょう。

(4) あなたの経験を後輩に伝えよう！

留学で考え方が変わった、自分でやることの大切さがわかった、留学生の苦労が分かった、留学前後でかわらないこと、行く前にやっておけばよかったと思うこと、帰国した今からしてみたいこと、そんなあなたの気持ちを他の学生に伝えてください。

大学間学生交流協定による派遣留学以外の留学をした人も、体験談を書く前に、是非留学生課に来てください。あなたに続く学生たちにわかりやすい資料にするために、所定の書式で書いていただいています。

先輩たちの体験談の一部が、京大ウェブサイト「留学の体験談」に掲載されています。

www.kyoto-u.ac.jp/ja/education/international/students3/guide/taiken/

2. 海外留学経験者の体験談（1）

● 語学留学

水谷希美さん（渡航時文学部2回生）

渡航先国、語学学校名：アメリカ、ボストン、EF ボストン校

【留学期間】

語学学校に通っていた期間自体は2007年4月～12月。

その後帰国日程を延ばして、2008年2月までボストンに滞在。

【留学のきっかけ、その学校を選んだ理由】

大学に入学した時から漠然と留学してみたいとは思っていましたが、直接のきっかけとなったのが大学2年の夏に内閣府青年国際交流事業に参加して、自分の英語力の乏しさを痛感した事でした。

その後から留学への思いが強くなりましたが、大学の交換留学は申し込みから出発まで1年以上の準備期間がかかること、また私の所属する文学部はセメスター制をとっていないので、9月始まりの大学に行こうとすると2年も卒業を延ばしてしまう恐れがあったため私費の語学留学を選びました。

学校は正直なところ、適当に選びました。ルネ主催の語学留学フェアに行って数社の話を聞いた中で、EF（*）は他社と違い代理店ではなく語学学校自体が留学を手配していて、京都にも支店があるので便利そうだと思って決めました。EFの中でもボストン校を選んだのは、学校の規模が大きくて世界中からたくさんの学生と出会えそうだったのと、アメリカ西海岸に比べて日本人比率が少ないと聞いたからです。また、ボストンはハーバードやMITといった大学の集まる歴史ある街で京都に似ており、勉強するには良い環境だと考えたのももう一つの理由です。

* EF（Education First）・・・世界最大規模の語学教育機関。50カ国以上で学生から社会人まで幅広い年齢層に語学教育を提供している。

【入学申請手続きについて】

たしか2006年の11月か12月頃ルネを通して申し込んだ後、EFの京都支店に行って手続きをしました。私の語学学校の場合は入学テストなどが無かったので、契約書を書いて料金を支払って終わり、という感じでした。

【情報収集】

語学学校による留学直前のオリエンテーションもありましたが、その他の情報収集としては、当時アメリカ留学していた友人に持っていくべきものなどを尋ねたりしていた程度でした。インターネットの留学情報サイトや留学生のブログなども参考にしていたと思います。

【必要書類】

F-1ビザ（学生ビザ）：代行業社などに頼まなくても、自分で領事館に行き簡単に取りれます。ただし日にちには余裕を持って申請しましょう。

I-20：語学学校の入学が決まると学校から送られてきます。この証明書がないと学生ビザの申請ができないですし、アメリカへの入国も学生ビザとこの書類があってはじめて許可されることになっています。

【留学生活について】

海外からの留学生ばかりいる語学学校の授業だけでは英語を学ぶのには不十分でした。その代わりに私はホテルのフロントでインターンシップを行っていました。アメリカ人同様に電話応対やチェックインの受付などを任されていたので、必然的に英語を話す環境に身を置くことができました。ゲストとの応対だけでなく、ホテルのスタッフとも積極的に話して仲良くなることで、英語の自然な言い回しを覚えたり、発音を直してもらったりしていました。

また15人の学生が住む大規模なホストファミリーの家で住んでいたのも、そこでも積極的に家族や学生に話しかけ英会話の練習をしていました。季節行事もみんなで行い、アメリカ文化を体験できたのも面白かったです。

【苦労したこと、またその解決法について】

私は身長が低いので、スーパーに行ったりすると高いところにある物に手が届かないことが多く、苦労しました。しかし、それも誰かに話しかける良いきっかけだと思って、英会話の練習と割り切っていました。

【留学を終えての感想】

とにかく、留学してよかったと思います。英語力が以前よりアップし自信が持てるようになったというのはもちろんですが、何よりもホームステイやインターンシップを通して多くの友人ができたことが一番の収穫でした。帰国してからもアルバイトで航空券代を貯めて、何度かボストンに遊びに戻っています。

【帰国後の進路、就職活動について】

私の場合は2学年終了後に1年間休学して語学留学に行ったので、帰国時には、3年生として復学しました。ですので、周りの友人らと同じペースで出遅れることもなく就職活動ができました。

自己アピールの時には大家族の中でのホームステイ、インターンシップ中のエピソードなどを活用して、コミュニケーション力や積極性を伝えるように心がけていました。また、語学留学へ行って得たものがあるということの証明のためにも、TOEICの受験は必須です。大学の交換留学に比べ軽んじて見られる傾向にある語学留学なので、TOEICのスコアが無ければ自分が語学留学をした意義を説得できる材料が無いからです。TOEICは日本でなくても受けられるので、可能ならば留学先で一番英語に耳が慣れている時に受けるのもいいでしょう。

【後輩へのアドバイス】

語学留学の場合、特に短期なら、留学したから英語がペラペラになるという幻想は捨てた方がいいでしょう。正直なところ、語学学校のカリキュラムはあまり大したことはないですし、日本で自習していても良かったのではと思ったときもありました。しかし、留学だからこそ得られるものもあります。それは人脈や、ホームステイといった現地でしかできない経験です。受身でいては何も得るものの無いままあっという間に終わってしまう語学留学なので、自分から積極的に行動することが鍵になると思います。そうすれば必ずと英語力もついてきますよ。



2. 海外留学経験者の体験談（2）

●ヴルカヌスプログラム参加（経済産業省と EU 共催の語学研修＋企業インターン）

長谷川寛晃さん（渡航時エネルギー科学研究科 1 回生）
 渡航先国：フランス 研修企業：ルノー
 語学研修：三か月半 アンボワーズの語学学校、EUROCENTRE
 インターン：七か月半 Paris 近郊（住んでいたのは Paris 市内）Lardy という Renault の開発拠点の町



【ヴルカヌスプログラムについて】

このプログラムは、約四か月の語学研修と約八か月の企業研修から成っており、他に EU 行政府の見学等があります。八か月という比較的に長い研修期間のため、企業の中で、一つのプロジェクトを任せられその中で結果を出すことが求められます。そのため、初めの四か月に最低限必要となる語学能力をつけるべく語学研修期間があります。研修を行う大きな障害のひとつである語学を身につけ、研修に打ち込むことができます。また海外生活の大きな障害、金銭面に関しては、語学研修代（ホームステイ＋語学学校費）に加えて日本円 80 万円と 6000 €（現在は、6600 €）を支給されます。国の支援の整った事業であるので、他の事業と比べても恵まれた環境の中で、自分の力を試す事のできる機会だと思います。

【何故留学ではなくこのプログラムを選んだか】

私は、学生時代に海外生活をしてみたいと考えていました。というのも、学生という、価値観に対して順応性がある時に、「企業のため」といった利害を気にすることなく自由に海外で暮らして、そこにいる人々に対するイメージを作りたいからです。それだけでなく、どうせ海外に行くなら、自分がより成長できる場、自分の力を試す事が出来る場に飛び込みたいと考えていました。そうした考えの中で、留学、とりわけ一年以下の短い留学は前者を満たしているものの、どうしても自分の興味を満たしてくれるものには思えませんでした。一般的に考えて、「学校よりも企業の方が厳しい→求められるものも高い→その分大変だけど得るものは大きい」と考えていましたので、できれば企業で研修したいと考えていました。そこで、偶然ながらもこのプログラムを見つけ、参加していた先輩に相談し、十分魅力的であると感じたので選びました。

【現地での生活】

語学研修中（アンボワーズというロワール地方の田舎町）は、ホームステイで、朝食・夕食はホームステイ先の親が用意してくださり、昼のみ外食したり学校で料理したりと、何不自由ない生活をしていました。学校が終わるとみんなでピクニック、週末は旅行とかなり楽しみました。

企業研修中は、住む場所は自分で見つけなければならないので、安い場所を探しました。それでも月に 400 € 必要でした（後にルームシェアをした時は 250 € 程度でした）。食事も、昼は会社の食堂で食べるのですが、朝・晩は自炊していました。ただ、食材は豊富で、米もあり日本料理も作ることは可能です。パリは物価が高いので普段切り詰めて生活していましたが、その分週末や休みに旅行にいき、夜友達とよく飲みに行きました。パリには日本語を勉強している学科があるので、その学生を中心に交流していました。企業での研修は、一日八時間で土日は休みなので私生活の時間を作ることも十分可能でした。仲良くなった企業の同僚と空手をしたり、食事にいったりすることで、より相手の考えに触れることができた気がします。

【苦労したこと、またその解決法について】

苦労したことは、まず語学。自分の中で、一か月经った後の目標、二か月经った後の目標と考えてはいたのですが、なにぶん語学はすぐにはできないものなので、達成するのが困難でした。とにかく、長い時間、集中してフランス語を読み、書き、聞き、話す、そんな基礎的な事に集中して取り組んでいました。そして、海外での生活。滞在許可証を取る、家を見つける事、電気・ガスを契約すること、生活用品をそろえる事、銀行口座を開設すること、病院に行くこと、すべての基本的な事が大変で、時間を取られました。特に滞在許可証は、必要書類が人によって違っていたりしたので、本当に時間がかかりました。最後に、企業での研修。自分が思っていた以上に、しっかりと仕事をする事ができず、本当に苦しかったです。なので、仕事でわからない事があった場合に、わからない部分を明確にすること、その部分が何故わからないのかを明確にする事に努め、コミュニケーションを活発にしていきました。

【帰国後の進路、またプログラム参加経験をどのように活用したか】

僕の場合、4 月から 3 月まで海外におり、帰国後（4 月）から就職活動を行っていたのでは遅いので、参加前に色々企業とのセミナー、工場見学、先輩訪問を行っていました。そして、帰国後に試験、面接を受けました。海外インターンの経験は大いに役立ちました。面接で、苦しい時とその対処の仕方等、海外インターンで経験したことを話した覚えがあります。また、海外で住んでいた際に考えていた「日本と海外の関係」について話しました。

【先輩へのアドバイス】

人生は一回きり。自分がしたい事はなんなのか、そのしたい事に対して真剣に向き合う事はすごく大切な事だと思います。他の人がしているから、していないから、そういった思いで踏みとどまっているなら、経験した人を探してみてください。きっと、京都大学内に二人はいると思います。また、学生の間は、知識、感性を豊かにするために、多くの実験を行っていくのがいいのではないのでしょうか。海外経験は、そういった多くの実験機会に恵まれていると思います。もし、やる気があれば、参加してみる事をおすすめします。



2. 海外留学経験者の体験談（3）

●私費留学

中川敦夫さん（渡航時総合人間学部 3 回生）
 留学先大学名 英国 University of Warwick（ウォーリック大学）
 専攻：数学
 留学期間：2007 年 8 月～2008 年 6 月末

【何故私費留学を選んだのか】

1. 交換留学の申請に間に合わなかったから

2007 年 1 月、父の知人でオックスフォード大学の教授をなさっていた方に影響を受け、イギリス留学を考えるようになりました。しかし部活動に専念しているうちに、気づけば 2007 年 10 月に。友人から知らされて気付きましたが、交換留学の一次募集の締め切りは、出発前年の 10 月…。しかも二次募集の締め切りである 1 月も、TOEFL の結果発表が間に合わず応募できないことが発覚…（*当時の学内募集システム。現在は異なる）。

ネガティブな理由ですが、自分の情報収集不足により、やむなく私費留学にせざるを得なくなったから、というのも事実です。

2. 交換留学のリストには無い大学を選択できる

「せっかく一年留学するなら、最高の一年にしたい」という思いが強かったため、できる限り自分の希望に沿う大学を選びたく思っていました。一年待って交換留学のリストにある大学に行くことも出来たと思いますが、そこに無い大学で魅力的な大学が多く存在したので、私費留学になっても最善の選択をしよう決めました。（このときかかった費用は、社会人になってから親に出世払いしようと思います。出世できるかな…。涙）

【何故ウォーリック大学を選んだか】

1. 留学するならしっかり勉強したかった

せっかく留学するのなら、語学だけ身に付けるのではなく現地の大学の授業も受けたいと思い、雑誌『留学ジャーナル』を読みながら、数学の教育レベルが高いとされる大学を探すことに。その中で、Oxford と Cambridge に次いで数学のレベルが全英 3 位とされている、University of Warwick（ウォーリック大学）が目にとまりました。

2. 勉強以外の大学生活も満喫したかった

他にもいくつかの大学を候補として考えていましたが、中でもウォーリック大学は、学業以外の点でもとても充実していました。

- ・イギリス外からの留学生が全学生の 12% を占める、非常に国際的な学風
- ・Student Union がイギリス内で最も活発な大学で、学生に活気がある
- ・スポーツジム、陸上競技トラック、映画館、クラブ、バー、etc… 施設が非常に充実していた

「ここなら色々な世界を楽しむことができる。知ることができる」そう思い、ウォーリック大学に決めました。

【留学までの流れ】

2006 年 10 月 留学決意
 2007 年 1 月 TOEFL 受験
 2007 年 5 月 留学許可審査をウォーリックに申請
 2007 年 8 月 渡英

僕の場合、情報収集の遅さにより私費留学にせざるを得ない状況に追い込まれたので、僕の例より早く行動を起こしたほうが良いと思います。成績も関係あるので、留学を意識されている方は「『可』でもいいから単位が取れればいいや〜」という考えをやめることをオススメします。（一般教養の授業の中には、ちょっと頑張れば簡単に「優」を取れる科目が山のようにあります。）

余談ですが、将来的に外資系企業や外資系銀行などに就職することを希望している方も、成績は大事したほうが良いと思われます。（日本企業については成績は全く関係ありません。）

【情報収集について】

- ・雑誌『留学ジャーナル』：付属図書館に過去のぶんまで置いてあります。
- ・インターネット：留学申請に必要な情報や、大学のウリが簡単にわかります。
- ・現地の知り合い：もし現地に知り合いがいれば、生の評判を聞くことをオススメします。

【必要申請書類】

覚えている範囲で書きますが、これら以外にも必要な書類はあるかと思うので、実際に申請をされる際に相手の大学としっかり連絡を取りながら確認してください。

1. TOEFL スコア：おそらく一番苦しんだところだと思います。受験予約もすぐ埋まってしまうがちなので、受けようと考えてから最短で 2 ヶ月後の受験になると考えたほうが良いと思います。更に受験から結果が発表されるまで 3 週間かかるので、受験予約から結果発表まで合計約 3 ヶ月かかるつもり考えたほうが良いです。更に、一発の受験で合格点を獲得できる保証もないので、2 回は受けるつもりで考えると、更に時間がかかります。よって、書類申請の 1 年前には受験準備を開始するのが良いと思います。僕の場合、申請の切の半年前に全てがスタートしたので、かなり追い込んで勉強をしなくてはなりませんでした。

2. 大学の成績証明書：実は成績が結構大事なので、頑張ってください。

3. 教授からの推薦書 2 通：これを書いていただく先生を探すのにも本当に苦労しました。どうやら僕の場合に限らず、大抵の留学に必要なようです。あらかじめ誰に推薦書を書いてもらおうか考えておけば良かったな、と今更ながら反省します。

1 通は留学先で勉強したい学問分野の先生から、もう 1 通は留学先の言葉を教えている語学の先生から書いてもらうのが無難でしょう。僕の場合、早急に用意しなくてはならなかった上、当時はゼミにも所属しておらず仲の良い教授もいなかったの、やむなくオックスフォード大で教授をなさっている知人の方（しかも数学ではなく言語学の方）に書いていただきました。しかし、本来なら推薦書は普通の皆さんの様子を保証するために提出するものなので、僕のように他大学の先生にお願いすることはオススメしません。

【住まいの確保。その住み心地】

1 年生と最終学年の生徒は、大学が用意する寮に住むことになっていました。僕は 1 年生と一緒に暮らすことになっていたの、いくつかある大学寮の中から選んだもの（“Whitefield”という名前でした）で暮らすことにしました。



ここで僕を含め 11 人の友達と暮らしたことが、僕にとって最高の思い出です。これについては後にも書きます。留学するなら、現地の学生と密接に過ごせる環境を選ぶことをお勧めします。

【留学生活について】

1. 寮の友達と過ごした最高の日々

留学生活では、どんな人達と出会い、どんな経験をするかということが一番大切だと思います。その点、僕の留学がこれだけ満足のいくものになったのは、ほとんど寮で共に過ごした友達のおかげだったと感じます。留学中の平日における私の過ごし方の一例を挙げてみます

08:00 起床
09:00 ～ 11:00 授業
11:30 ～ 12:30 部屋に戻ったのち、寮の友達とスーパーへ買い物。
13:00 ～ 14:30 寮のリビングで昼ご飯を食べながら、テレビを見たり寮の友達と談笑。
15:00 ～ 16:00 授業
17:00 ～ 19:00 現地で所属する陸上競技クラブチームの練習。
19:30 ～ 21:00 寮で夕食を調理。寮の友達と食べながら談笑。
22:00 ～ 25:00 クラブへ繰り出し、酔って騒ぎ倒す。
25:00 ～ 寮に戻ってからもこころゆくまで騒ぎ、いつのまにか部屋で寝ている。

2. 国際交流

寮の住人（全 11 人）は国際色豊かなウォーリック大学らしく、イギリス 7 人、シンガポール 1 人、アメリカ 1 人、カザフスタン 1 人、そして日本 1 人（僕）でした。更に寮以外の友達では、ドイツ人、フランス人、ブルガリア、チェコ、ハンガリー、etc… ほぼ世界中網羅しているであろう国々の人と友達になりました。ウォーリック大学ならではの経験だったと思います。

(3) その他の国への旅行

ヨーロッパの国へ留学される方は、ヨーロッパ各国への旅行も楽しみのひとつかと思えます。僕の場合、冬休みを利用してオーストリア、ハンガリーなどへ、また帰国前にパリ、バルセロナ、ローマ、ヴェネツィアへ旅行しました。ヨーロッパには格安航空会社があり、まわりの友人もそれを利用して旅行にでかけていたようです。僕の場合、ロンドンからパリまで 3000 円で行けました。

【苦労したこと、またその解決法について】

最初英語が上手く話せなかった頃は、意思疎通を図るのに非常に苦労しました。それでも臆さず積極的に自分から会話の機会を作らないといけなかったと考えていたため、毎日同じ空間で暮らす寮の友達は話しかけやすく、非常に助かりました。

【留学を終えての感想】

自分の考えを流暢に話せないというもどかしさや、「外国人」という少数派になることなど、多少弱い立場を経験できたことで、以前より多くの人の気持ちの共感できる寛容さのようなものを得ることができたと思います。また、海外から日本という立場を客観的に見ることができたため、否応なく「今後の日本にどうなって欲しいか」「そのために自分ができること、やるべきことは何か」といった、広い世界観を得ることもできました。しかし何より良かったことは、単純に寮の友達と深い絆で結ばれたことです。留学生活は人との出会いが一番の宝物になります。

【帰国後の進路】

4 回生夏に帰国したため、そこから 1 年遅れて就職活動をし、5 回生で卒業することにしました。（就職先は TBS テレビです。）

「留学をしても 4 年で卒業したい」という方は、2 回生後期～3 回生前期というスケジュールで留学することをおすすめします。

僕のように（そして他の多くの留学経験者と同じように）3 回生後期～4 回生前期というスケジュールで留学される方は、無理に 4 年で卒業しようとせず、5 回生で卒業するつもりで就職活動をされることをおすすめします。留学ということなら 1 年くらい留年しても全く問題ありません。

【後輩へのアドバイス】

1. 英語について

「現地で生活すればおのずと英語力は上がる」という幻想が世間に広く伝わっているようですが、残念ながらそう甘くはないようです。勉強していなくても「英語ができるようになったつもり」にはなれるのですが、本当に正しい英語力を身につけるためには、文法力が絶対に必要です。このとき、受験英語ほど皆さんの英語力向上を助けてくれるものはありません。逆に文法力がある方は、はじめのうちはリスニング・スピーキングで苦労しても、慣れればすぐにちゃんと話せるようになると思います。

TOEFL の勉強の際は、点数稼ぎのテクニックだけでなく、しっかりとした文法力の向上を意識しておく、実際に留学が始まってから楽だと思えます。

2. 人間関係構築を逃けない

同じ大学に留学してきていた日本人友達の中には、寮のイギリス人友達との関わりを怖がり、いつも日本人とばかり一緒にいる女子が何人かいました。しかし、それでは「日本人友達と 1 年間海外旅行をしてきた」というだけの 1 年になってしまいます。はじめは英語力の問題や文化の違いから、人間関係の構築に苦労するかと思いますが、その時期を越えてちゃんと友達になれば、それこそが留学生活の宝になると思います。

逆に、日本人留学生を避けるのもよくありません。わざわざ留学に来ようと思った仲間たちなので、人間的に面白い人達ばかりでした。留学生としての悩みを共有したり、物の貸し借りや、単純にお酒を飲み交わして騒ぎ遊んだり、日本人友達とも多くの良い思い出を作ることができました。イギリスでの友達も、日本人の友達も、留学が終わった後でも続く大切な絆です。どちらも大切にできれば、きっとかけがえのない 1 年間になると思います。

【最後に】

留学中は良い意味での「バカ」になって、色んな事を試し、多くの失敗を経験し、勉強も遊びも熱くなって来てください！ Study hard! Play hard! みなさんが最高の留学生活を過ごせますよう、心から応援しております。

1. 派遣留学の流れ

派遣留学とは

派遣留学とは、京都大学が海外の大学と締結している大学間・部局間の学生交流協定に基づく、一学期以上、一年以内の留学です。留学中の授業料は京都大学に納め、派遣先での授業料は免除されます。留学先での在学期間も、京都大学における修業年限に通算されるので、必要単位さえ取得すれば、留年せずに所定修業年限内で卒業することも可能です。また、留学前に所属学部・大学院の教務担当掛や指導教員に十分に相談した上で、協定校で修得した単位が京都大学での修得単位と認められる単位認定制度もあります。出願は、学内選考の後に、京都大学を通じて行われます。

この派遣留学は、本学と交流協定校との契約に基づいて、過去の学生たちが築き上げてきた信頼関係の上に成り立っています。それを後輩たちに伝えていくためにも、派遣学生は京都大学の代表であるという自覚を持って留学期間を過ごしてください。

派遣留学の流れは以下のようになります。

- ①学内選考への応募
- ②派遣先大学への出願
- ③入学許可、渡航準備
- ④留学生活
- ⑤帰国
- ⑥帰国後の手続

①学内選考への応募

派遣学生として協定校に出願するためには、まず学内選考に応募する必要があります。概要は以下の通りですが、毎年、募集時期や、それぞれの大学への派遣可能人数が若干異なりますので、必ず確認してください。募集要項・応募用紙の受け取り、応募書類の提出は所属学部・研究科において、その通知・指示に従ってください。

◇学内選考募集概要◇

- 募集時期（実際の募集時期は所属学部・研究科窓口を確認すること）
 - 1 月～3 月出発者・・・前年の 2 月～4 月頃
 - 4 月～12 月出発者・・・前年の 7 月～9 月頃
 - * 前回までの募集による学内選考で選に漏れても次回の募集に応募できます。

・応募資格

- ①本学の学部又は大学院の正規課程に在籍する者
 - ②留学期間が 1 学期以上 1 年以内の者
 - ③休学することなく留学する者で、部局長の推薦を受けた者
 - ④派遣先大学の応募資格を有する者
- （注）本学の授業料は納め、留学先での授業料等は徴収されません。

・派遣先大学及び人数枠

pp.23-26「4. 大学間学生交流協定一覧」のとおり
* 実際の募集時期によって各大学への派遣人数が変わるので、募集時期ごとの資料を確認すること

・応募書類等

- ①申請書
- ②成績証明書・学部 1 年次以降のもの（和文・原本）
- ③語学力の証明（留学先の応募条件である語学）
英語圏への留学希望者は、希望先大学の設定する必要語学力の 85%（豪州・NZ の大学は 100%）以上の得点で、かつ最低 CBT190 点（iBT68 点）以上を取得していることが学内応募の条件です。IELTS を基準とする大学への出願についてもこれに準じます。TOEFL スコアの提出の必要がない大学へ出願する場合も、学内選考用に応募の際提出すること。
- ④学科・専攻等の長又は指導教員の推薦書（日本語）
指導教員が決定していない者は、各所属部局の教務担当掛で相談すること。
* 本学内での選考により出願が許可された者は、改めて留学先への出願書類を作成することとなります。その際、英文での成績証明書や留学先の言語で書かれた推薦状が必要な場合もあります。

- ・ 協定校への出願可否の決定
応募書類により学内で選考（必要に応じ面接）を行い、各応募者の出願の可否を決定して、所属部局長に通知します。
出願を許可された者には、相手校から要項等が届き次第、留学生課から出願書類作成の指示を行い、留学生課を通じて出願することとなります。最終的な留学の可否は相手校が決定するので学内選考に通れば必ず留学できるとは限りません（特にカナダのケベック州大学学長校長協議会内の大学を希望した場合、各加盟校の事情により、同会の他大学や同会以外の協定校へ行先を変更せざるを得ない場合があります）。
- ・ 留学後の報告
派遣学生は帰国後、所属部局を通じて所定の「報告書」を速やかに提出すること。

②派遣先大学への出願

学内選考により推薦が決定した学生には、留学生課の派遣留学担当者からメールで出願案内が届きます。大学によって、出願のために必要な書類や提出期限が違いますので、指示に従って必要書類を用意して下さい。住まいは、交換留学生用に寮を確保してくれており、出願時に申し込むところ、入学許可がおりてから申し込むところ、自力で探さなければならないところなど、さまざまです。

③入学許可、渡航準備

出願書類は留学生課へ提出後、正式な推薦状とともに派遣先大学へ送られます。結果通知は派遣先大学によって異なりますが、申請から大体一ヶ月～一ヵ月半後になります。その間にすべきことは、できるだけ渡航先の国の情報を集めておくことと、ビザ取得の準備です。ビザは渡航前には必要なく、渡航後に在留許可を申請するところ（オランダ、ドイツ）、渡航前の申請しか受け付けず現地でビザの変更は不可能なところ（フランス）、申請から発給まで非常に時間のかかるところ（連合王国）など、国によって事情が異なりますので早めに情報を収集して動きましょう。入学許可が届いたら、航空券の手配もすぐにしましょう。

④留学生生活 pp.10-11 参照

⑤帰国 p11 参照

⑥帰国後の手続

帰国後、復学への手続きは各部局によって異なります。所属学部・研究科に問い合せて必要な手続きを済ませてください。留学生課への手続きはとくに必要ありませんが、派遣先での成績証明書が出ましたら、学内応募時に配布している報告書用紙を使用して報告書を提出して下さい。書式がない場合は留学生課に申し出てください。



🗣️派遣留学経験者の声（平成 20 年度 メルボルン大学に派遣留学した N さん）

メルボルンは都会だったので、ほしいものは基本的に何でも手に入りました。物価も日本と変わらないが、家賃に関してはものっすごく高かったです。シェアハウスが当たり前の国なので、最初はびっくりしました。あと、スーパーには日本にあるような惣菜的なものは売っていないため、料理ができないと少し大変かもしれません。後はお菓子が甘い、料理が脂っこい。友達の日本人の女の子はほぼ全員「こっち来てから太った」って言っていました。

住むところですが、私はホームステイと寮を経験しました。ホームステイではムスリムのご家庭だったので、これまで経験したことがないような文化や風習に触れることができました。寮では、世界中の友達ができ、一緒に話したりする中で楽しい経験をすることができました。なので、一人暮らしよりはこのような人とふれあうことができる滞在方法をお勧めします。

メルボルンは都会でありながら自然や公園が多く、とても美しい町でした。イギリス調の建物も目を見張ります。シティの中心部は格子状になっており、さらに大きな川もあるため、京都に似ているという印象を受けます。さらに全豪オープンテニス、メルボルンカップ（競馬）、F1 など世界的なイベントも多く、非常に楽しめる街でもあります。移民が多い都市でもあり、日本料理はもちろん、イタリアン、中華、韓国、台湾、インドのみならず、ギリシャ料理やアフガニスタン料理なども楽しむことができ、非常にたくさんの経験をすることができました。

ただ洋服に関しては大きいものが多かったです。私は日本では M サイズを着ていましたが、向こうにいた時は S もしくは SS を着ていました。紫外線が強いため、サングラスは必須。別に恰好をつけるためというわけではなく、目を保護するためにみんなかけています。もちろん日焼け止めを欠かすことはできません。オゾン層が薄いせいか、空の色が薄くて（薄い水色のような感じで）とてもきれいだとメルボルンに初めて降り立った日に感じたことを覚えています。

遊びだけではなく、大学や学生の数も多いため勉強熱も高く、図書館は人が多かったです。天気の良い日には、外の芝生で寝転びながら勉強している人も多く、海外を感じました。



◆ 派遣留学について

2. 派遣留学経験者の言葉

派遣先大学名 留学期間 滞航時の所属 学部・研究科、学年	留学のきっかけ、 留学先を決めた理由	保険について	航空券を購入するにあ たってのアドバイス	荷物について	持ち物について	送金方法
ソウル大学校 (韓国) 2009.3-2009.6 文 M2	学部時代から、院に入ったら絶対韓国に留学したいと思っていた。自分の専門に近しい分野の研究をしている教授のいるソウル大学に決めた。	ネット上で数社の価格を比較し、一番安い旅行保険に加入した。	片道で買うよりもオープンチケットで買った方が割安だと思う。生協の旅行チケットのカウンターなどで担当者にいろいろと聞いてみると思う。	当面必要のない資料などは船便で送り、急ぐものはEMSで送った。韓国→日本は船便:20日、一般郵便:1週間、EMS:2日	持っていったよかったもの:ドリップパック式のコーヒー(韓国にはドリップパック式のコーヒーがなく、やたら甘いインスタントコーヒーか、味の薄いコーヒー豆か、ティパック式のコーヒーしかない。日本のブラックコーヒーに慣れていたせいか、韓国のコーヒーはお世辞にもおいしいとは言えなかった。) 持っていけばよかったと思うもの:使い捨てカイロ(韓国のものは高価)	留学前にまとめて生活費をもらっていたため、送金はなかった
メルボルン大学 (オーストラリア) 2008.10-2009.6 教 M2	1.オーストラリアを研究しており、修士論文の資料集めのため。2.以前から大学院に入ったら留学したいと思っていたため。3.英語のレベルアップのため	先輩やエージェントのアドバイスを参考に、AUIのものを選んだ。エージェントを通していたので、疑問点はすぐ訳け、教えてもらえてよかった。	現地で買うほうが安いので、必ずしも出発時に往復で買う必要はないと思う。手間隙を考えると、最初に買ったほうがいいと思う。	行きはスーツケースとドラムバッグに詰めていった。帰りは引越し業者を利用して、段ボール箱3つで500ドルだった。格安で、日本の会社だったので安心だった。行きよりも帰りが荷物が増える。	持っていったよかったもの:日本のお土産、デジカメとメモリーカード、ノートパソコン、クレジットカード、常備薬、普段使っている化粧品類、日焼け止め。 持っていかなくてもよかったもの:日本語の参考書、衣類(向こうでも買えるため) 持っていけばよかったと思うもの:小分けにした洗剤。これはあると便利。	銀行を通して行った。基本クレジットカードを使っていたため、送金を頼んだのは一回だけだった。
メルボルン大学 (オーストラリア) 2010.2-2010.12 総入 B3	時期的に南半球のNZかオーストラリアしかなかったというのが正直なところですが、気候や人柄に対する勝手なイメージも働きました	オーストラリアの学生ビザを取るためには必ず入らなければならない保険があるものでそれにしました。	早めに買うべき!	トランクに入るだけをもっていきました。日本から服やら身の回りのものをたくさん持って行きたいと思いますが、海外にしばらくいると服の好みも変わってきますし、現地で大抵調達できます。	持っていったよかったもの:ゆかた 持っていけばよかったと思うもの:運動用の水着!大学にもプールがあったので新しく現地で買いました。	トラベラーズチェックと現金を少し持って行って、後はカードですべて済ませました。そして親に毎月口座にお金を入れてもらいました。現金が少し足りなかったときもありましたが、バイトや友達とご飯に行ったときに現金回収・カード払いなどして何とかりました
旧ストラスブール 大学連合 ロベール・シュ マン大学 (フランス) 2008.9-2009.6 法 B4	専門が国際法であったため、EUの議会などヨーロッパ政治の中枢機関がおかれているストラスブールが魅力的だった。またストラスブールは留学生が多いため、語学のフォローがしっかりしており、フランス語にさほど自信のない自分でも大丈夫ではないかと考えた。	AUIの海外保険。9月から翌年6月末まで加入し約10万だった。留学期間全体をカバーするように加入するのがよいと思う。旅行保険の緊急一時帰国というオプションをつけていたため、11月に祖父が亡くなった時に保険金で一時帰国できた。1年も家を離れると何があるかわからないし、1万円ほどなので、検討の価値はあると思う。	往復で買うか片道ずつ買うか、どちらが安いかは時期によって違うので確認したほうがよい。ヨーロッパの場合は現地から日本への片道が意外に安いので、日本出発のときは片道だけ購入し、帰国の際に現地で帰国便の航空券を手配する方がいいかもしれない。	日本からも現地からも、荷物は送らなかった。飛行機に預ける荷物の重ささえ注意しておけば、追加料金なしで全部持って帰ることができる。ただ、飛行機に乗せるときの重量追加料金よりも宅配便で送るほうがずっと安いので、心配であれば宅配便を使うことをお勧めします。	持っていったよかったもの:日本的なもの、折り紙はウケがよかった。日本製の高品質な文房具は現地で非常に高いため、余分に使っていった。日本と違い、停電も時々あるので懐中電灯も重宝した。 持っていかなくてもよかったもの:余分なコンタクトレンズ。保険を使うと現地のほうが安く手に入った。電池もヨーロッパのほうが安かった。 持っていけばよかったと思うもの:日本語の参考書。現地では現地語が英語の本しかない。語学書と専門書と合わせて数冊しか持っていなかったため苦労した。	送金はしなかった。海外ATM対応の銀行口座のカードを持っていくと、どの国に行ってもその国の通貨で引き出せるため便利。また、フランスはクレジットカード社会なので、クレジットカードを利用することも多かった。
コトレヒト大学 (オランダ) 2009.2-2010.2 工 M2	Innovation system および innovation が産業に及ぼす影響について興味があり、実践的な授業を行っている大学で学びたかったため。	AUIの海外留学保険を選んだ。	私はopen-fixで購入しましたが、片道ずつ買っている人もいて人それぞれです。基本的に往復で買った方が安いとは思いますが、	すぐに必要なものはスーツケースで、それ以外のものは空輸でもいて人それぞれです。基本的には日本のものでない不安だったのですが、先進国であれば現地のものを使っても全然問題なかったもので、日本から持っていく必要はないと思います	持っていったよかったもの:日本食・薬 持っていかなくてもよかったもの:服や細々とした日用品(現地で大手手に入った) 持って行けばよかったと思うもの:日本の調味料(みりんは手に入りにくい)	一か月くらいの生活費は国によって違うので、あらかじめ調べていくとよいと思う(オランダではTCは使えないし、使えるクレジットカードの種類も少なかった)。
コトレヒト大学 (オランダ) 2009.2-2009.7 教 M2	修士論文のテーマの関連から選んだ	東京海上火災の留学向け保険。現地でスーツケースが壊れたが、すぐ保険から支払われたし、対応もよかった。	帰国の日程が変わられるよう、PIXではなくオープンチケットにしておくとよいと思う。	送らずに最小限の荷物をスーツケースにつめていった。	持っていったよかったもの:オランダ語の辞書 持っていかなくてもよかったもの:ゆたんぼ 持っていけばよかったと思うもの:良いデジタカメラ	みずほ銀行の貯蓄預金を使った。CitrusマークのついてるATMから、直接ユーロでお金が引き出せる。
ウブサラ大学 (スウェーデン) 2008.8-2009.1 経 B4	入学した時から留学に興味があった。留学先は講義の内容を見て、自分が勉強したいと思った科目・形式のある大学を選んだ。	東京海上火災の半年のもの	インターネットで探すと安く見つかる。	送らず、スーツケース(80ℓ)と鞆(60ℓ)のみで行った。	持つていったよかったもの:スリッパ、旅行のガイドブック(日本語で読むほうがラク) 持っていけばよかったと思うもの:現地で知り合った人に渡すためのお土産	三井住友銀行の国際キャッシングカードを作り、そこからお金を引き出した。
マギル大学 (カナダ) 2008.9-2009.4 農 B4	学生の間に行きたかったから。留学先は語学力、大学の規模、レベル、何を学べるかを考慮して決めた。	学期中はマギルの国際学生用の保険。保険適用後は現地の保険を申し込んだ。日本の保険より安く、現地の留学生向けの保険なので、カナダ国外に行くときにも適用される。		荷物は最小限のものをもち、あとは船便で送った。	持っていかなくてもよかったと思うもの:日本の文房具。日本のほうが品数も豊富で、質も高い。	現地の銀行にアカウントを作って送金してもらった。
ウォータールー大学 (カナダ) 2008.9-2009.4 工 M2	語学留学より本格的な留学をしたかったから。母国語が英語の国で、かつ院生を受け入れていたところを選んだ。	留学先の大学の保険(必須のもの)にしたが、荷物の紛失等にはきかないので、日本の留学保険等にも入っていったほうがよいかもしれない。	3ヶ月、半年、一年などの、航空券の有効期限に注意すること。	行きはスーツケース2つを持参、帰りは本などを船便で日本に発送した。帰りは行きより荷物が増える。	持っていったよかったもの:調味料、レトルト食品、就活関係の本。 持っていかなくてもよかったと思うもの:日本語の教科書(意外と使わなかった)	トラベラーズチェックで持って行き、現地で作った銀行口座に入金。その後はその銀行のデビットカードを使った。

留学先でのこと	留学先で困ったこと、 またその解決法	留学を終えての感想・後輩へのアドバイス	就職活動について
韓国の大学は、山を切り開いてキャンパスにしている場合が多く、学校に行くたびにちょっとしたハイキング気分だった。いいと思うかどうかは個人によるもので、自分にとっては一苦勞だった。	学校生活では困らなかったが、日常生活でのさまざまなアクシデントについては、同じアパートに住む韓国人に相談し、解決してもらっていた。	何が何だかわからないままに留学期間が過ぎてしまった。やり残したことも多いが、今後研究を続けていくうえで非常に有益な経験になった。 後輩へ:留学にはさまざまな困難が伴いますが、その分得るものも大きいと思います。	
p18に掲載	風邪をひいたとき、言葉の違うところで病気にかかるというのは本当につらいと実感した。友人が看顧してくれ、本当に有難く感じた。	行ってよかった。本当にたくさんのものを得ることができた。世界から来た友達と関わる中で自分の世界も広がったと思うし、留学を通して得られた経験、英語力、世界中の友達は自分の人生において財産になると思います。 後輩へ:最初は確かに未知のことばかりで大変ですが、学生の時期に海外で長期滞在するという経験は必ず人生に良い影響を与えるし、プラスになると思います。人生なにごとも経験。案ずるより生むが易しといいます。交換留学は学校からサポートも受けられるし、待遇面でも一般留学生よりかなりいいものがあり、お勧めです。海外留学に興味があるならとりあえずそれに向けて動いてみることをお勧めします。	教員採用試験を受けた。キャリアフォーラムには特に参加しなかったが、日本語の参考書を送ってもらい、向こうで勉強していた。
	たくさんありすぎてかけません・・・	・京大での留学生の様子についてよく知っていること、逆に逆に驚いたりするかもしれません ・オーストラリアは本当にマルチカルチャーな国です。OZ=白人というイメージとか、ビーチにフットー(オーストラリアンフットボール)というイメージとか、いろんなものが覆されたし、新しいOZを発見できました。 後輩へ:もちろん、留学は大きなステップですが、それだけが自分にプラスになることではないと思います。日本にいても留学以上に大きな何かを成し遂げている人もいますし、海外でのぼんんと1年暮らすだけの人もいますし、(私はこれだったかもしれませんが)・・・けど、留学は行ってよかったと思います!	日本人向けのセミナーに参加
現地の滞在許可証を受け取った後も、外国ということを忘れず、常にパスポートを持ち歩いておく。治安の悪いところには近づかないようにすべき。特にイタリアやフランスでは、中国人の不法入国が問題となっているのでアジア人は職務質問をされることが多い。日本人の場合はパスポートを見せるだけで大丈夫なので、常にパスポートと現地の登録証は持ち歩くべき。	フランス人は外国語を嫌うので、下手でもフランス語で難さそうが好意的に受け入れられ親しくなりやすかった。 家族の都合で緊急一時帰国した時の様に、特別な動きをするときは必要ない手続きなどをきちんと調べて済ませておくことが必要。	外国人嫌いなフランス人相手に生活していると、知らず知らずの間に度胸がついた。ぶっさらばうな相手に自分のことをはっきり主張していく度胸である。そのおかげで就職活動の際の面接などでも緊張しなくなったし、自分の主張をはっきり表すことができるようになった。これは、得たものとしては、語学の上達よりも大きかったかもしれない。また、フランス人に限らず、世界中からやってきた学生と友人になることができた。 留学前は将来のことを考えてかなり不安にも思っていたが、今では留学して非常によかったと思っている。 後輩へ:大学を卒業すると、1年もの長期間を海外で過ごすというのは間違いなく不可能なことなので、海外に1年間滞在できるこの機会を大いに楽しんでほしいと思う。現地では、現地人だけでなく他国からの留学生とも交友を深めると有意義な滞在ができると思う。	帰国した6月から就職活動を始めた。出発前にも現地でも、就職に関することは一切していなかったが、帰国後に留学帰国生用の就活イベントに参加し、夏採用で内定をもらうことができた。6月末までに帰ってくるのであれば、日本に帰ってきてから就活を始めても遅くないと思う。
TCやクレジットカードの種類は国によって違うので、あらかじめ調べていくとよいと思う(オランダではTCは使えないし、使えるクレジットカードの種類も少なかった)。	洗濯機などの電化製品の使い方が日本とは違っていたが、人に聞くなりインターネットで調べたりすれば解決した。		ロンドンで日本人向けの就職セミナーがあり、参加したが、不況のため参加企業も少ないうえに会社説明だけで終わった。また、留学中の夏休み期間中に日本に帰国して東京での就職フォーラムに参加し、そこで登録した会社に内定をいただいた。夏休み期間中に就職フォーラムを行うところとしては、リクナビやマイナビの留学生用サイト、およびCFNのサイトを参考にすると思う。日本の就職活動の時期に日本にいないのであれば、留学前に一度就職活動を体験しておく、日本の就職活動の感じが分かっていると良いと思う。また、夏休みの期間(6月~8月)で応募できる企業の数も正規の活動期間と比べてかなり少ないので、内定をもらう機会も少ないし、自分の行きたい企業がある可能性も低い。特に今年は不況のために参加企業および採用人数が少なかったらしい。短い期間中に自分に合った企業を探し、面接に合格しなければならぬので、フォーラムの参加前にしっかり企業やフォーラムのリサーチをしておいた方が良いと思う。京都大学のキャリアサポートセンターにも行ったが、留学生のための情報はほばないに等しかった。また、夏休み期間中に内定をもらえなかった学生は10月くらいにボストンで開催される就職フェアに参加するという人も多かった。
すべてオランダ語で書かれているので、洗濯機の使い方がスーパの買い物(どれが食器用洗剤か、など)まで最初は困ったが、外国語修得のよいチャンスだった。	留学先で歯の詰め物がとれて困った。しかし、日本の国民健康保険が海外での歯科治療にも対応していた。しかし、仕組みが複雑なので要確認。	しんどいこともあったが、とても楽しかった。また行きたい。 後輩へ:とりあえず行ってみましょう。	
日用品に関しては、日本と同等水準を期待しないほうがいい。外国の薬は強すぎるので、飲みなれた薬を持っていくほうがいい。	日本でのように意図を察してくれるのを待っているのはダメ。自分からはっきり主張していかなければならない。	留学の目標を英語力の向上と勉強に置いており、両方達成できて有意義だった。留学は手続き等面倒なことも多いが、その分得るものも大きい。行くかどうか迷っているのなら、いくことをお勧めする。	日本に帰ってきてから就職活動した。セミナーの予約等は日本にいくなくても、ウェブ上でできる。就職活動が本格化するのは3月からで、2月までは興味ある企業を探す時期、行きたい企業が決まっているのであれば、2月中旬に帰国すれば十分春採用に間に合う。 後輩へ:目標がないと留学しても意味がない、と言われるが、これは留学する具体的目標(特定の教授が目当てとか、その大学で勉強することを得られるキャリアがあるなど)がなければ意味がないというわけではない。現地に行かないとわからないこともあるし、そこまで具体的な目標がなくても大丈夫。自分がどういった方針で留学期間を過ごすか(外国の文化に触れるために友達をたくさんつくり遊ぶ、語学を○○のレベルまであげる、など)を決める程度で十分だと思う。ただ留学に行ってみたい、という気持ちを優先してもいいと思う。
自分でやろうと思ったことはなんでもできるはず。やりたいことをすべてやればいい。自分で壁をつくるのはもったいない。	とりあえず大学のオフィスに行く。友達に聞く。先生に聞く。頼れるのは日本にいる親族や友達より現地の友。	いろいろと大変な目にもあったが、行ってよかったと思う。 後輩へ:誰かの体験記を読むより、誰かに直接会って話を聞いたほうがいい。	
授業でグループワークのメンバーにたすけられることが多かった。	手続きなどの対応の悪さに困った。これは、しっかりとくりに確認していった。安い自転車の質の悪さ(すぐ錆びる、空気が抜ける)に困った。	帰国後に英語力をキープする機会をもっと欲しい、京大に来ていた交換留学生をもっと知りたかった。	ボストンキャリアフォーラムに行った。出発前に開催されるサマースタートアップイベントを利用してエントリーシート、面接の練習。ボストンキャリアフォーラムは留学後すぐなので、出発前の事前の準備が重要だ。

3. 派遣留学に関する Q&A

交流協定とは何ですか？

大学間交流協定とは、協定校間の研究者・学生・学術資料などの交流・交換を奨励しようという約束です。この交流協定には、一般的に学術交流協定と学生交流協定の2種類があります。学術交流協定は、①学術資料、刊行物及び情報の交換 ②教員・研究者の交流 ③学生の交流 ④共同研究や研究集会の実施などを推進するために締結するものです。学生交流協定は、学生の交流（交換留学）についてのみの取り決めです。この学生交流協定を「授業料等を不徴収とする大学間学生交流協定」と呼び、①在籍する大学に授業料を納めることにより派遣先大学での授業料等が免除されること ②協定校で修得した単位の一部を在籍する大学で修得したものとして認める単位互換などについての取り決めをしています。また、大学同士で締結される大学間交流協定の他に、部局同士で締結される部局間交流協定があります。部局間交流協定については、所属の学部・研究科事務室に問い合わせてください。

派遣留学（交換留学）とは何ですか？

国際交流を促進するために、学生交流協定に基づいて、互いに学生を留学させあうシステムのことです。京都大学に在籍しつつ、1学年以内の1学期又は複数学期のあいだ、京都大学が協定を結んでいる海外の大学に学位取得を目的としない留学をし、教育を受けて単位修得し、又は研究指導を受けるものです。

この派遣留学（交換留学）は、本学と協定校間との契約に基づいて過去の学生たちが築き上げてきた信頼関係の上に成り立つものですから、留学が決まった学生は、京都大学の代表として派遣留学生に選ばれたという自覚を持って留学期間を過ごしてください。

語学力・学力はどのくらい必要ですか？

留学生生活を円滑に過ごすための必要最低限の語学力は、渡航前から必要ですし、また留学すれば自然と語学力が高まるというものでは決してありません。日本の学校へ進学する場合と同様、留学にも一定以上の学力が必要です。1回生の時から十分な準備をし、派遣留学の応募書類提出時には、基準を満たしているようにしてください。

英語圏への留学のための語学力証明書には TOEFL が使われることが一般的です。協定校により必要語学の基準点が異なりますので、大学間交流協定一覧（pp.23～26）で確認してください。

非英語圏への留学についても、派遣先の大学における専攻内容によって多少の差はありますが、日常生活で、読む・聞く・話す・書くことができ、教育のため授業の聴講及び研究指導を受けることのできる程度の力は最低限必要です。

派遣留学（交換留学）の準備にはどのくらいの期間がかかりますか？

派遣留学（交換留学）を希望する学生は、留学を希望する一学年前に、所属の学部を通じて学内選考用の申請書（日本語）を提出することが必要です。語学力を身につけるための語学留学とは異なり、派遣留学（交換留学）では、基本的に本学での専攻に関連した科目を履修し、又は研究指導を受けます。そのため応募者は、協定校が提供する資料の中から、自分の専攻領域に合ったプログラムや履修したい講義を持つ大学を事前に調べてから、学内選考用の書類を提出する必要があります。

派遣留学（交換留学）は、年度により募集日程及び協定校に多少変更がありますが、毎年、2月頃に翌年1月～3月出発者、7月頃に翌年4月～12月出発者の募集を行ないます。応募書類、募集締切等の詳細は、所属の学部・大学院事務室（教務担当掛等）に必ず問い合わせてください。

学内選考を通過した学生は、その後、留学希望先の大学の願書に加えて、推薦状、留学目的、研究予定等を記した書類を提出することになります。必要書類、願書締切時期、結果発表の時期等は、派遣先大学により異なります。

派遣留学先で取得した単位は、京都大学で認定されますか？

協定校で修得した単位を本学で修得した単位として認める単位認定制度があります。これは、学部・研究科によって「単位認定の手続き」及び「単位認定可能な科目」などが異なりますので、必ず、留学前から、所属学部の教務担当掛に尋ね、相談してください。また、留学先大学で履修する科目等については、指導教員と相談することが大切です。

複数の大学に応募できますか？

一募集期に第二希望まで挙げることができ、過去の募集において学内選考で選外となった学生も応募することができます。

大学の情報・資料はどこで入手できますか？

協定校から定期的に送られてくる資料は、留学生ラウンジ KI-ZU-NA に保存してありますので、自由に閲覧できます。そこにはないものは、各校のウェブサイトで見てください。

派遣留学（交換留学）するための奨学金はありますか？

協定校への派遣留学生を対象とした奨学金として、次の奨学金・助成金制度があります。

- ①独立行政法人 日本学生支援機構（JASSO）の留学生交流支援制度（短期派遣）
奨学金 月額 80,000 円
- ②京都大学教育研究振興財団からの助成を受けて、京都大学が実施する京都大学「留学派遣」
渡航費の一部助成

①・②とも派遣留学が決定した学生のなかから選考されるので、特に応募の必要はありません。支給者決定は、毎年9月ごろになります。

上記以外にも JASSO が毎年発行する「海外留学奨学金パンフレット」に様々な奨学金が紹介されていますので、www.jasso.go.jp/study_a/scholarships.html を参照してください。

4. 大学間交流協定一覧

- 派遣人数0の協定校とは、大学間学術交流協定のみが締結されており、授業料等を不徴収とする京都大学生の派遣留学は行なわれていない。授業料等を不徴収とする派遣留学は、網掛けされた協定校のみを対象としている。
- 必要語学欄の HSK は中国語能力認定試験、iBT とは、インターネット版 TOEFL 得点、CBT とは、コンピューター版 TOEFL 得点を示す。
- 条件に変更が生じる可能性があるので、学内応募時の希望留学先選択は、実際の募集通知を参照のこと。
- 必要語学の点数は、同じ大学でも学部によって異なることもある。

国・地域	協定校名	派遣人数	学期（月）	必要語学	講義言語	その他
中国	復旦大学 Fudan University	2	9月-1月 3月-7月	HSK level 6 IELTS 6.0, iBT90 点	中国語 ・英語（一部）	
中国	香港科学技術大学 Hong Kong University of Science and Technology	2	9月-12月 2月-5月	IELTS 6.0 iBT80 点	英語 ・中国語（一部）	院生は受け入れない
中国	*香港大学 The University of Hong Kong	2	9月-12月 1月-5月	IELTS 7.0, iBT80 点	英語 ・中国語（一部）	院生は研究と学部 科目履修のみ可
中国	*香港中文大学 The Chinese University of Hong Kong	2	9月-12月 1月-5月	iBT71 点	英語	院生は受け入れない
中国	南京大学 Nanjing University	2	9月-1月 2月-6月	中国語	中国語	
中国	西北大学 Northwest University	0	-	-	-	-
中国	北京大学 Peking University	2	9月-1月 2月-6月	中国語の講義が受けられるレベル	中国語 ・英語（一部）	中国籍の学生不可
中国	清華大学 Tsinghua University	2	9月-1月 2月-6月	中国語が堪能であること	中国語 ・英語（一部）	中国籍の学生不可
中国	中国科学技術大学 University of Science and Technology of China	0	-	-	-	-
中国	武漢大学 Wuhan University	2	9月-1月 2月-6月	HSK Level6(文系) Level3(理系)	中国語	
中国	浙江大学 Zhejiang University	2	9月-1月 2月-6月	HSK Level6(文系) Level4(理系)	中国語	
中国	上海交通大学 Shanghai Jiao Tong University	2	9月-1月 2月-7月	HSK Level6	中国語	
中国	西安交通大学 Xi'an Jiao Tong University	0	-	-	-	-
インドネシア	インドネシア科学院 Indonesian Institute of Sciences (LIPI)	0	-	-	-	-
インドネシア	バンドン工科大学 Institut Teknologi Bandung	0	-	-	-	-
インドネシア	インドネシア大学 University of Indonesia	0	-	-	-	-
イスラエル	テルアビブ大学 Tel Aviv University	2	10月-1月 2月-5月	ヘブライ語 ・英語	ヘブライ語 ・英語	
日本	国際連合大学 United Nations University	0	-	-	-	-
大韓民国	韓国科学技術院 Korea Advanced Institute of Science and Technology	0	-	-	-	-
大韓民国	高麗大学校 Korea University	2	3月-6月 9月-12月	韓国語 ・英語	韓国語 ・英語	
大韓民国	慶北大学校 Kyungpook National University	3	3月-6月 9月-12月	韓国語 ・英語	韓国語 ・英語	
大韓民国	浦項工科大学 Pohang University of Science and Technology	2	3月-6月 9月-12月	TOEFL 提出	韓国語 ・英語	
大韓民国	ソウル大学校 Seoul National University	3	3月-6月 9月-12月	iBT88 点、IELTS6.0, KLPT, TOPIC Level5	韓国語 ・英語	
大韓民国	延世大学校 Yonsei University	2	3月-6月 9月-12月	KLPT Level4, iBT79 点、 IELTS6.0	韓国語 ・英語	
マレーシア	マラヤ大学 University of Malaya	0	-	-	-	-
ラオス	ラオス国立大学 National University of Laos	0	-	-	-	-
シンガポール	シンガポール国立大学 The National University of Singapore	2	8月-12月 1月-5月	法以外 TOEFL 提出必要なし	英語	法のみ iBT 100 点 院生は受け入れない

国・地域	協定校名	派遣人数	学期（月）	必要語学	講義言語	その他
タイ	チュラロンコン大学 Chulalongkorn University	2	8月～12月 1月～5月 6月～7月	タイ語または CBT213 点	タイ語 ・英語	
タイ	カセサート大学 Kasetsart University	2	6月-10月 1月-5月	専攻により異なる	タイ語 ・英語	
タイ	タマサート大学 Thammasat University	2	8月-12月 1月-5月	タイ語または iBT61-79 点	タイ語 ・英語	
台湾	国立台湾大学 National Taiwan University	2	9月-1月 2月-6月	英語・中国語	英語 ・中国語	
台湾	国立清華大学 National Tsing Hua University	2	9月-1月 2月-6月	中国語・英語	中国語 ・英語（一部）	
ベトナム	ベトナム国家大学ハノイ校 Vietnam National University, Hanoi	0	-	-	-	-
ベトナム	ハノイ工科大学 Hanoi University of Technology	0	-	-	-	-
ベトナム	フエ大学 Hue University	0	-	-	-	-
アセアン	アセアン大学連合 ASEAN University Network	0	-	-	-	-
オーストラリア	メルボルン大学 The University of Melbourne	3	2月-7月 7月-12月	iBT90 点、 各セクション 21 点以上	英語	院生は専攻により異なる。 iBT90-115
オーストラリア	ニューサウスウェールズ大学 The University of New South Wales	2	3月-6月 7月-11月	IELTS 6.5, iBT 90 点、writing 24 点以上	英語	
オーストラリア	クィーンズランド大学 University of Queensland	0	-	-	-	-
オーストラリア	シドニー大学 The University of Sydney	2	2月-6月 7月-12月	iBT 90 点、 Writing21 点	英語	
オーストラリア	オーストラリア国立大学 The Australian National University	2	2月-6月 7月-11月	iBT 90 点、 各セクション 20 点以上、 法学系は 100 点、 各セクション 22 点以上	英語	
ニュージーランド	オークランド大学 The University of Auckland	1	3月-6月 7月-11月	IELTS6.0, iBT80 点 writing 21	英語	
スーダン共和国	ハルツーム大学 University of Khartoum	0	-	-	-	-
オーストリア共和国	ウィーン大学 Universität Wien	2	10月-1月 3月-6月	ドイツ語	ドイツ語	
ベルギー	ルーバン・カトリック大学 Université Catholique de Louvain	2	9月-1月 2月-7月	フランス語、 iBT80 点	フランス語、 一部英語	
チェコ	カレル大学 Univerzita Karlova v Praze	0	-	-	-	-
フランス	パリ第7大学 Université Paris 7 - Denis Diderot	0	-	-	-	-
フランス	グルノーブル大学連合 Consortium des Universités de Grenoble (GUEST) 以下4大学					
	ジョゼフ・フーリエ大学 Université Joseph Fourier	5	9月-12月 1月-6月	フランス語	フランス語 ・英語	
	ピエール・マンデス大学 Université Pierre Mendès-France		9月-12月 1月-6月	フランス語	フランス語 ・英語	
	スタンダール大学 Université Stendhal		9月-12月 1月-6月	フランス語	フランス語 ・英語	
	グルノーブル理工科大学 Institut National Polytechnique de Grenoble		9月-12月 1月-6月	フランス語	フランス語 ・英語	
フランス	ストラスブール大学 Université de Strasbourg	5	9月-12月 1月-6月	フランス語	フランス語	
フランス	パリ政治学院 Sciences Po	2	9月-2月 2月-6月	フランス語 B2 または IELTS 6.0、 iBT80	フランス語 ・英語	
フランス	エコール・ノルマル・シュペリウール Ecole Normale Supérieure, Paris	1	9月-2月 2月-6月	文系: フランス語 理系: 英語可	フランス語・ 英語	
ドイツ	ベルリン自由大学 Freie Universität Berlin	2	10月-3月 4月-9月	ドイツ語	ドイツ語	
ドイツ	フンボルト大学 Humboldt-Universität zu Berlin	2	10月-3月 4月-7月	ドイツ語	ドイツ語	

4. 大学間交流協定一覧（つづき）

国・地域	協定校名	派遣人数	学期（月）	必要語学	講義言語	その他
ドイツ	ミュンヘン大学 Ludwig-Maximilians-Universität München	2	10月-2月 4月-9月	ドイツ語	ドイツ語	
ドイツ	ハイデルベルク大学 Ruprecht-Karls-Universität Heidelberg	2	9月-2月 3月-8月	ドイツ語	ドイツ語	
ドイツ	ミュンヘン工科大学 Technische Universität München	3	10月-2月 4月-7月	ドイツ語	ドイツ語	
ドイツ	ボン大学 Universität Bonn	3	10月-2月 4月-7月	ドイツ語	ドイツ語	
イタリア	ボローニャ大学 Università di Bologna	0	-	-	-	-
イタリア	ピサ大学 Università di Pisa	0	-	-	-	-
イタリア	シエナ大学 Università di Siena	0	-	-	-	-
オランダ	ライデン大学 Universiteit Leiden	2	9月-1月 2月-6月	iBT88点	オランダ語 ・英語	
オランダ	ユトレヒト大学 Universiteit Utrecht	3	9月-2月 2月-6月	オランダ語または iBT 83点（学部） 93点（修士）	オランダ語 ・英語	
スウェーデン	ストックホルム王立工科大学 Kungliga Tekniska Högskolan	2	8月-1月 1月-6月	スウェーデン語 ・英語	スウェーデン語 ・英語	
スウェーデン	ストックホルム大学 Stockholm University	2	8月-1月 1月-6月	IELTS6.0, iBT79点	スウェーデン語 ・英語	
スウェーデン	ウプサラ大学 Uppsala University	2	8月-1月 1月-6月	英語	スウェーデン語 ・英語	
スイス	スイス連邦工科大学 Eidgenössische Technische Hochschule Zürich	0	-	-	-	-
スイス	ローザンヌ大学 Université de Lausanne	2	9月-1月 2月-6月	フランス語	フランス語 ・英語	
連合王国	ケンブリッジ大学 University of Cambridge	0	-	-	-	-
連合王国	エジンバラ大学 University of Edinburgh	0	-	-	-	-
連合王国	マンチェスター大学 The University of Manchester	3	9月-1月 1月-6月	IELTS6.0 iBT80点	英語	院生は受け入れ ない 法のみ iBT 100点
連合王国	ノッティンガム大学 University of Nottingham	0	-	-	-	-
連合王国	オックスフォード大学 University of Oxford	0	-	-	-	-
連合王国	サセックス大学 The University of Sussex	0	-	-	-	-
連合王国	シェフィールド大学 The University of Sheffield	2	9月-2月 2月-6月	IELTS6.0 iBT80点	英語	院生は受け入れ ない
ロシア	ロモノソフ記念 モスクワ国立大学 Lomonosov Moscow State University	0	-	-	-	-
カナダ	ケベック州大学学長校長協議会 Confédération des recteurs et des principaux des universités du Québec（CREPUQ）以下 19 大学					
	ビショップス大学 Université Bishop's	5	9月-12月 1月-4月	英語	英語	
	コンコルディア大学 Université Concordia		9月-12月 1月-4月	iBT75点	英語	
	マギル大学 Université McGill		9月-12月 1月-4月	英語	英語	院生は受け入れ ない
	ラヴァル大学 Université Laval		9月-12月 1月-4月	フランス語	フランス語	
	モントリオール大学商科大学 École des Hautes Études Commerciales de Montréal		9月-12月 1月-4月	フランス語	フランス語	
	モントリオール大学 Université de Montréal		9月-12月 1月-4月	フランス語	フランス語	
	モントリオール大学 理工科大学 Université de Montréal École Polytechnique		9月-12月 1月-4月	フランス語	フランス語	
	シュルブルック大学 Université de Sherbrooke		9月-12月 1月-4月	フランス語	フランス語	
	ケベック大学 シクチミ校 Université du Québec à Chicoutimi		9月-12月 1月-4月	フランス語	フランス語	
	ケベック大学 モントリオール校 Université du Québec à Montréal		9月-12月 1月-4月	フランス語	フランス語	

国・地域	協定校名	派遣人数	学期（月）	必要語学	講義言語	その他
	ケベック大学 リムスキー校 Université du Québec à Rimouski		9月-12月 1月-4月	フランス語	フランス語	
	ケベック大学 トロワ・リヴィエール校 Université du Québec à Trois-Rivières		9月-12月 1月-4月	フランス語	フランス語	
	ケベック大学 アビチビ・テミスカミング校 Université du Québec en Abitibi-Témiscamingue		9月-12月 1月-4月	フランス語	フランス語	
	ケベック大学 ウタウエ校 Université du Québec en Outaouais		9月-12月 1月-4月	フランス語	フランス語	
	ケベック大学 州立行政学院 École Nationale d'Administration Publique		9月-12月 1月-4月	フランス語	フランス語	
	ケベック大学 高等工科大学 École de Technologie Supérieure		9月-12月 1月-4月	フランス語	フランス語	
	ケベック大学 州立科学研究所 Institut National de la Recherche Scientifique		9月-12月 1月-4月	フランス語	フランス語	
	ケベック大学 アルマン・フラピエ研究所 Institut Armand-Frappier		-	-	-	
	ケベック大学 テレビ通信大学 Télé-université		-	-	-	
カナダ	トロント大学 University of Toronto	2	9月-12月 1月-4月	学部生・iBT89点 writing 19点 院生・iBT 93点 writing/speaking 22点	英語	
カナダ	ウォータールー大学 University of Waterloo	2	9月-12月 1月-4月 5月-8月	TOEFL スコア 提出不要	英語	
メキシコ	グアダラハラ大学 Universidad de Guadalajara	2	8月-12月 2月-6月	スペイン語	スペイン語	
アメリカ 合衆国	ブラウン大学 Brown University	0	-	-	-	-
アメリカ 合衆国	ジョージワシントン大学 The George Washington University	2	9月-12月 1月-5月	iBT80点	英語	院生は受け入れ ない
アメリカ 合衆国	ポリテクニク大学 Polytechnic University	0	-	-	-	-
アメリカ 合衆国	スタンフォード大学 Stanford University	0	-	-	-	-
アメリカ 合衆国	タフツ大学 Tufts University	0	-	-	-	-
アメリカ 合衆国	カリフォルニア大学 University of California					
	カリフォルニア大学 バークレー校 University of California, Berkeley	0	-	-	-	-
	カリフォルニア大学 デービス校 University of California, Davis		-	-	-	-
	カリフォルニア大学 アーバイン校 University of California, Irvine		-	-	-	-
	カリフォルニア大学 ロサンジェルス校 University of California, Los Angeles		-	-	-	-
	カリフォルニア大学 リバーサイド校 University of California, Riverside		-	-	-	-
	カリフォルニア大学 サンタバーバラ校 University of California, Santa Barbara		-	-	-	-
	カリフォルニア大学 サンタクルーズ校 University of California, Santa Cruz		-	-	-	-
	カリフォルニア大学 サンディエゴ校 University of California, San Diego		-	-	-	-
アメリカ 合衆国	ハワイ大学 マノアキャンパス University of Hawaii at Manoa	2	8月-12月 1月-5月	IBT 68点 CBT190点 PBT520点	英語	iBT100点以下 は英語コース 履修要
アメリカ 合衆国	ミシガン大学 University of Michigan	0	-	-	-	-
アメリカ 合衆国	ペンシルベニア大学 The University of Pennsylvania	2	9月-12月 1月-5月	iBT100点	英語	院生は受け入れ ない
アメリカ 合衆国	ウェイン州立大学 Wayne State University	0	-	-	-	-

（注意）＊印のついた協定校は、学術交流協定は締結していない

◆ 派遣留学について

5. 部局間交流協定一覧

- 派遣人数0の協定校とは、部局間学術交流協定のみが締結されており、授業料等を不徴収とする当該部局学生の派遣留学は行われていない。授業料等を不徴収とする派遣留学は、網掛けされた協定校のみを対象としている。詳細は、当該部局の事務室に問い合わせること。
- *印のついた学生交流人数は、複数部局における合計人数をさす。

●文 学 部

Faculty of Letters

国名	協定校名（部局名）	協定校名（部局名） アルファベット表記	派遣人数
中国	北京大学（歴史学部 博士後期課程）	Peking University (Department of History)	2
フランス	パリ第8大学（「歴史、文学、社会学」学部）	Université Paris 8 (UFR 《Histoire, Littératures, Sociologie》)	2
スイス	ジュネーヴ大学（文学部）	Université de Genève (Faculté des Lettres)	2
連合王国	ロンドン大学（東洋・アフリカ研究学院）	University of London (School of Oriental and African Studies)	0
ロシア	ロシア科学アカデミー東方学研究所サンクトペテルブルク支所	St.Petersburg Branch of the Institute of Oriental Studies of the Russian Academy of Science	0
アメリカ合衆国	ハーバード燕京研究所	Harvard-Yenching Institute	0

●教 育 学 部

Faculty of Education

国名	協定校名（部局名）	協定校名（部局名） アルファベット表記	派遣人数
中国	北京師範大学教育学院	Beijing Normal University, College of Education	0
中国	中国中央教育科学研究所	China National Institute for Educational Research	0
連合王国	ランカスター大学心理学部	Department of Psychology, Lancaster University	0
アメリカ合衆国	ハーバード燕京研究所	Harvard-Yenching Institute	0
アメリカ合衆国	カリフォルニア大学ロサンゼルス校（教育学部）	University of California, Los Angles (Education)	0

●法 学 部

Faculty of Law

国名	協定校名（部局名）	協定校名（部局名） アルファベット表記	派遣人数
アメリカ合衆国	ハーバード燕京研究所	Harvard-Yenching Institute	0

●経 済 学 部

Faculty of Economy

国名・地域	協定校名（部局名）	協定校名（部局名） アルファベット表記	派遣人数
中国	中国社会科学院（経済研究所）	Chinese Academy of Social Sciences (Institute of Economics)	0
中国	復旦大学（日本研究中心）	Fudan University (Center for Japanese Studies)	0
中国	復旦大学（経済学院）	Fudan University (School of Economics)	0
中国	中国人民大学（経済学院）	Renmin University of China (School of Economics)	0
中国	西安交通大学（公共政策・管理学院）	School of Public Policy and Administration, Xi'an Jiaotong University	0
中国	西安交通大学（公共政策・管理学院附属中国西部発展研究中心）	Research Center for Development of western china, School of Public Policy and Administration, Xi'an Jiaotong University	0
台湾	国立政治大学（社会科学院）	National Chengchi University (College of Social Sciences)	2
台湾	国立政治大学（台湾研究中心）	National Chengchi University (Taiwan Study Center)	0
大韓民国	慶北大学校商経大学（経済通商学部）	The School of Economics and Trade, College of Economics & Commerce, Kyungpook National University	0
ブルガリア	ソフィア経済大学	University of National and World Economy, Sofia	0
フランス	パリ第4大学－ソルボンヌ	Université de Paris IV -Sorbonne	0
フランス	フランス国立農学研究所モンペリエ複合研究部門「イノベーション」	(UMR Innovation) ,INRA, Montpellier	0
ドイツ	アルベルト・ルードヴィヒ大学	Albert-Ludwigs-Universität Freiburg	0
ドイツ	ヨハン・ヴォルフガング・ゲーテ大学	Johann Wolfgang Goethe-Universität Frankfurt am Main	2
ドイツ	ビーレフェルト大学	Universität Bielefeld	0
オランダ	ティルブルフ大学	Tilburg University	0
スウェーデン	イエンスシェピンク大学(国際ビジネススクール)	Jönköping University (Jönköping International Business School)	2
アメリカ合衆国	ハーバード燕京研究所	Harvard-Yenching Institute	0

●理 学 部

Faculty of Science

国名	協定校名（部局名）	協定校名（部局名） アルファベット表記	派遣人数
韓国	慶熙大学校応用科学大学	College of Applied Science, Kyung Hee University, Korea	0
インドネシア	インドネシア国立測量及び地図調整機構	The National Coordination Agency For Surveys And Mapping (BAKOSURTANAL)	0
ガボン共和国	国立ガボン科学技術研究センター	Le Centre National de la Recherche Scientifique et Technologique	0

●医 学 部

Faculty of Medicine

国名	協定校名（部局名）	協定校名（部局名） アルファベット表記	派遣人数
中国	中国医科大学	China Medical University	0
中国	第四軍医大学	Fourth Military Medical University	0
中国	華中科技大学（同済医学院）	Huazhong University of Science and Technology (Tongji Medical College)	2
中国	復旦大学上海医学院	Fudan University Shanghai Medical College	2
中国	北京大学	Peking University	0
タイ	マヒドン大学（医学部）	Mahidol University (Faculties of Medicine)	0
ベトナム	ハノイ医科大学	Hanoi Medical University	0
フランス	パリ第7大学（医学部）	Denis Diderot Universite Paris 7 (Les Facultes des Medicine)	2
フランス	ボルドー第2大学（医学部）	Victor Segalen Bordeaux 2 Universite (Les Facultes des Medicine)	2
アメリカ合衆国	ペンシルバニア大学（医学部）	University of Pennsylvania (Medical Center, School of Medicine)	2
アメリカ合衆国	コロラド大学デンバー校及び保健科学センター	University of Colorado at Denver and Health Sciences Center	2
アメリカ合衆国	ワシントン大学（医学部）	The University of Washington School of Medicine	0
アメリカ合衆国	テキサス大学 MD アンダーソンがんセンター	The University of Texas M.D. Anderson Cancer Center	0
フランス	フランス原子力庁生命科学部門	Commissariat a l'Energie Atomique (NeuroSpin)	0
ドイツ	マックスデルブリュック分子医学センター	Max-Delbruck-Centrum fur Molekulare Medizin	2
スリランカ	ペラデニア大学医学部 / 理学部	University of Peradeniya Faculty of Medicine / Faculty of Science	0

●薬 学 部

Faculty of Pharmaceutical Science

国名	協定校名（部局名）	協定校名（部局名） アルファベット表記	派遣人数
中国	北京師範大学	College of Chemistry, Beijing Normal University	0
大韓民国	ソウル大学校（薬学部）	Seoul National University (College of Pharmacy)	0
フランス	ルーアン大学（理工学部）	Faculty of Sciences and Technology, Rouen University	0
アメリカ合衆国	南カリフォルニア大学（薬学部）	University of Southern California (School of Pharmacy)	0

●工 学 部

Faculty of Engineering

（学科・専攻間の協定については、教務課留学生担当に問い合わせること）

国名・地域	協定校名（部局名）	協定校名（部局名） アルファベット表記	派遣人数
中国	大連理工大学	Dalian University of Technology	0
中国	上海交通大学	Shanghai Jiao Tong University	*3
中国	同済大学（大学院）	Tongji University (Graduate School)	0
中国	ハルビン工業大学	Harbin Institute of Technology	0
大韓民国	韓国高等科学技術院（工学研究科）	Korea Advanced Institute of Science and Technology	*3
マレーシア	マレーシア工科大学（建築都市環境学部、化学天然資源工学部、土木工学部、機械工学部）	Universiti Teknologi Malaysia (Faculty of Build Environment, Faculty of Chemical and Natural Resources Engineering, Faculty of Civil Engineering, Faculty of Mechanical Engineering)	0
タイ	アジア工科大学（工業技術研究科、環境資源開発研究科、経営学研究科）	Asian Institute of Technology (School of Engineering and Technology, School of Environment, Resources, and Development, School of Management)	0
タイ	キングモンクット工科大学ラカバン校	King Mongkut's Institute of Technology Ladkrabang	0
タイ	エネルギー環境合同大学院大学（JGSEE）	The Joint Graduate School of Energy and Environment of King Mongkut's University of Technology Thonburi	0
ベトナム	ハノイ土木工科大学	Hanoi University of Civil Engineering	0
台湾	国立成功大学（工学院）	National Cheng Kung University (College of Enginieering)	0
チェコ	チェコ工科大学プラハ校（工学部）	Czech Technical University in Prague	0
フランス	グルノーブル理工科大学	Institut National Polytechnique de Grenoble	*3
フランス	ピエール・エ・マリー・キュリー大学（パリ第6大学）	Université Pierre et Marie Curie de Paris	0
ドイツ	エアランゲン・ニュルンベルク大学（工学部）	Friedrich-Alexander-Universität Erlangen-Nürnberg (Faculty of Engineering Sciences)	0
ドイツ	デュッセルドルフ・ハインリッヒ・ハイネ大学	Heinrich-Heine-Universität Düsseldorf (Institute of Organic Chemistry and Macromolecular Chemistry)	3
ドイツ	ヨハネス・ゲーテンベルグ大学（物理・数学・計算機科学科）	Johannes Gutenberg University, Mainz (Department of Physics, Mathematics, and Computer Science)	2
ドイツ	ドルトムント大学	Universität Dortmund	*3
ドイツ	カイザースラウテルン大学	Universität Kaiserslautern	*3
ドイツ	カールスルーエ大学	Universität Karlsruhe	2
ドイツ	フライブルク大学（応用科学部）	University of Freiburg (Faculty of Applied Sciences)	2
オランダ	デルフト工科大学	Delft University of Technology	0
ノルウェー	ノルウェー科学技術大学	Norwegian University of Science and Technology	*3
スウェーデン	チャルマーシュ工科大学	Chalmers University of Technology	0

◆ 派遣留学について

5. 部局間交流協定一覧（つづき）

国名・地域	協定校名（部局名）	協定校名（部局名） アルファベット表記	派遣人数
スウェーデン	リンシェーピン大学	Linköping University	*3
連合王国	バーミンガム大学(化学研究科、コンピューター科学研究科、工学研究科、地理学・地球環境科学研究科、数学・統計学研究科、物理学・天文学研究科)	The University of Birmingham	0
カナダ	ウエスタンオンタリオ大学（工学部・理学部）	The University of Western Ontario (Faculty of Engineering, Faculty of Science)	0
アメリカ合衆国	レンスラー工科大学（工学部）	Rensselaer Polytechnic Institute	0
アメリカ合衆国	フロリダ大学（工学部・工学研究科）	University of Florida (College of Engineering)	0
アメリカ合衆国	フロリダ大学（教養学部、教養学研究科）	University of Florida (College of Liberal Arts and Sciences)	0
アメリカ合衆国	テキサス大学オースティン校（工学部）	The University of Texas at Austin (The College of Engineering)	0
アメリカ合衆国	ワシントン大学（工学部）	University of Washington (The College of Engineering)	0
アメリカ合衆国	ウィスコンシン大学マディソン校（工学部）	University of Wisconsin-Madison (The College of Engineering)	0
ブラジル	サンパウロ大学（工学部・工学研究科）	Escola Politécnica da Universidade de São Paulo	0
ドイツ・アメリカ合衆国	フライブルク大学（マイクロシステム工学部・工学研究科）ミシガン大学(工学部・工学研究科)	University of Freiburg (Institute of Microsystem Technology) The University of Michigan (College of Engineering)	0

●農 学 部

Faculty of Agriculture

国名	協定校名（部局名）	協定校名（部局名） アルファベット表記	派遣人数
中国	昆明理工大学院	Kunming University of Science and Technology	2
中国	南京農業大学	Nanjing Agricultural University	2
中国	東北林業大学	Northeast Forestry University	2
中国	上海水産大学	Shanghai Fisheries University	2
中国	中国農業大学	China Agricultural University	2
中国	浙江大学農学生命環境科学部	Faculty of Agriculture, Life and Environment Sciences,Zhejiang University, China	2
インドネシア	ボゴール農科大学	Bogor Agricultural University	2
大韓民国	仁済大学校（医生命工学大学）	Inje University (College of Biomedical Science and Engineering)	2
タイ	コンケン大学（農学部）	Khon Kaen University (Faculty of Agriculture)	2
タンザニア	ソコイネ農科大学	Sokoine University of Agriculture	0
オーストリア	ウィーン農科大学	University of Natural Resources and Applied Life Sciences, Vienna	0
ドイツ	ハノーバー大学（景観保全・自然保護研究所）	Hannover University (Institute of Landscape Preservation and Nature Protection)	0
イタリア	フィレンツェ大学（農学部）	The Faculty of Agriculture of the University of Florence	0
オランダ	ワーゲニンゲン大学研究推進機構	Educational Institute, Wageningen University	2
連合王国	ロンドン大学ワイ校	Wye College, University of London	0
カザフスタン	カザフ農業大学	Kazakh State University of Agriculture	0
カナダ	アルバータ大学農学・生命・環境学部（ALES）	Faculty of Agricultural, Life and Environmental Sciences, University of Alberta	0
チリ	アントファガスタ大学（海洋資源学部）	University of Antofagasta (Faculty of Marine Resources)	0
アメリカ合衆国	フロリダ大学食料・農業科学研究所（IFAS）	Institute of Food and Agricultural Sciences, University of Florida	0
アメリカ合衆国	コーネル大学（農業・生命学部）	Cornell University (College of Agricultural and Life Sciences)	0
アメリカ合衆国	ウィスコンシン大学マディソン校（農学・生命科学部）	University of Wisconsin-Madison (College of Agricultural and Life Sciences)	0

●人間・環境学研究科

Graduate School of Human and Environmental Studies

国名・地域	協定校名（部局名）	協定校名（部局名） アルファベット表記	派遣人数
台湾	国立成功大学社会科学院	College of Social Sciences National Cheng Kung University	0

●エネルギー科学研究科

Graduate School of Energy Science

国名	協定校名（部局名）	協定校名（部局名） アルファベット表記	派遣人数
中国	大連理工大学	Dalian University of Technology	0
中国	ハルビン工程大学（核学科・技術学院）	Harbin Engineering University (College of Nuclear Science and Technology)	0
中国	廣西大学（物理科学・工学技術学院）	Guangxi University (College of Physics Science and Technology)	0
中国	上海交通大学	Shanghai Jiao Tong University	*3
大韓民国	亜洲大学校（エネルギー学科）	Ajou University (Department of Energy Studies, Graduate School)	0
大韓民国	韓国高等科学技術院（工学研究科）	Korea Advanced Institute of Science and Technology (College of Engineering)	*3

国名	協定校名（部局名）	協定校名（部局名） アルファベット表記	派遣人数
大韓民国	東義大学校（工学大学）	Dong-eui University (College of Engineering)	0
大韓民国	釜慶大学校（工科大学）	Pukyong National University (College of Engineering)	0
マレーシア	マレーシア工科大学（建築都市環境学部、化学天然資源工学部、土木工学部、機械工学部）	Universiti Teknologi Malaysia (Faculty of Build Environment, Faculty of Chemical and Natural Resources Engineering, Faculty of Civil Engineering, Faculty of Mechanical Engineering)	0
タイ	ラジャマンガラ工科大学タンヤブリ校	Rajamangala University of Technology Thanyaburi	0
タイ	キングモンクット工科大学ラカバン校	King Mongkut's Institute of Technology Ladkrabang	0
タイ	エネルギー環境合同大学院大学 <JGSEE>	Joint Graduate School of Energy and Environment <JGSEE>	0
フランス	グルノーブル理工科大学	Institut National Polytechnique de Grenoble	*3
ドイツ	エアランゲン・ニュルンベルク大学（工学部）	Friedrich-Alexander Universität Erlangen-Nürnberg (Faculty of Engineering Sciences)	0
ドイツ	ドルトムント工科大学	Technische Universität Dortmund	*3
ドイツ	カイザースラウテルン大学	Universität Kaiserslautern	*3
ドイツ	カールスルーエ大学（化学プロセス工学部）	Universität Karlsruhe (Department of Chemical Process Engineering)	0
ノルウェー	ノルウェー科学技術大学	Norwegian University of Science and Technology	*3
スウェーデン	チャルマーシュ工科大学	Chalmers University of Technology	0
スウェーデン	リンシェーピン大学	Linköping University	*3
連合王国	バーミンガム大学(化学研究科、コンピューター科学研究科、工学研究科、地理学・地球環境科学研究科、数学・統計学研究科、物理学・天文学研究科)	University of Birmingham (School of Chemical Sciences, School of Computer Science, School of Engineering, School of Geography, Earth and Environmental Sciences, School of Mathematics and Statistics and School of Physics and Astronomy)	0

●アジア・アフリカ地域研究研究科

Graduate School of Asia and African Area Studies

国名	協定校名（部局名）	協定校名（部局名） アルファベット表記	派遣人数
インドネシア	ボゴール農科大学	Bogor Agricultural University	0
インドネシア	チェンデラワシ大学	Cenderawasih University	0
インドネシア	ハサヌディン大学 大学院プログラム及び研究機構	Hasanuddin University (Research Institute and Graduate Programs)	0
インドネシア	インドネシア国立地理調査機構	National Coordination Agency for Surveys and Mapping	0
インドネシア	国立イスラーム大学（注1）	National Islamic University	0
インドネシア	スルタン・アゲン・ティルタヤサ大学	Sultan Ageng Tirtayasa University	0
ネパール	トリブバン大学ネパール・アジア研究所	Centre for Nepal and Asian Studies, Tribhuvan University	0
シンガポール	シンガポール国立大学（人文社会科学学部）	National University of Singapore	0
トルコ	アンカラ大学（神学部）	Ankara Universty (Faculty of Theology)	0
ベトナム	ハノイ農業大学	Hanoi Agricultural University	0
ベトナム	ベトナム社会科学アカデミー南部持続的発展院	The Southern Institute of Sustainable Development, Vietnam Academy of Social Sciences	0
ラオス	ラオス国立大学	National University of Laos	0
ミャンマー	イエジン農科大学	Yezin Agricultural University	0
エジプト・アラブ共和国	カイロ大学	Cairo University	0
エチオピア	アジスアベバ大学エチオピア研究所	Institute of Ethiopian Studies (IES) , Addis Ababa University	0
カメルーン	ヤウンデ第一大学（人文社会学部）	University of Yaounde I	0
ケニア	ナイロビ大学アフリカ研究所	University of Nairobi (Institute of African Studies)	0
ボツワナ	ボツワナ大学	University of Botswana	0

（注1）アジア・アフリカ地域研究研究科、東南アジア研究所、国立イスラーム大学の3者が協定を結んでいる

●情報学研究科

Graduate School of Informatics

国名	協定校名（部局名）	協定校名（部局名） アルファベット表記	派遣人数
中国	中国科学院数学与系統科学研究院	Chinese Academy of Sciences (Academy of Mathematics and System Sciences)	0
中国	中国科学院計算技術研究所	Chinese Academy of Sciences (Institute of Computing Technology)	0
中国	香港城市大学理工学部	City University of Hong Kong (Faculty of Science and Engineering)	0
中国	上海交通大学	Shanghai Jiao Tong University	*3
中国	新疆大学計算機科学工学院	Xinjiang University (College of Information Science and Engineering)	0
大韓民国	梨花女子大学科学技術大学院・国際教育院	Ewha Woman's University (Ewha Institute of Science and Technology and International Education Institute)	0
大韓民国	韓国航空大学大学院	Graduate School of Hankuku Aviation University	0
大韓民国	韓国高等科学技術院（工学研究科）	Korea Advanced Institute of Science and Technology	*3
タイ	アジア工科大学先端技術研究科	Asian Institute of Technology (School of Advanced Technologies)	0
タイ	キングモンクット大学ラカバン校	King Mongkut's Institute of Technology Ladkrabang	0
エジプト	カイロ大学計算機情報学部	Cairo University (Faculty of Computers and Information)	0
フィンランド	オウル大学（電気情報工学科、情報処理科）	University of Oulu (Department of Electrical and Information Engineering, Department of Information Processing Science)	3
フランス	グルノーブル工科大学	Institut National Polytechnique de Grenoble	*3
ドイツ	エアランゲン・ニュルンベルク大学（工学部）	Friedrich-Alexander-Universität Erlangen-Nürnberg (Faculty of Engineering Sciences)	0

5. 部局間交流協定一覧（つづき）

国名	協定校名（部局名）	協定校名（部局名） アルファベット表記	派遣人数
ドイツ	ドルトムント大学	Universität Dortmund	*3
スウェーデン	リンシェーピン大学	Linköping University	*3
ポーランド	ワルシャワ工科大学	Institut National Polytechnique de Grenoble	0
連合王国	バーミンガム大学(化学研究科、コンピューター科学研究科、工学研究科、地理学・地球環境科学研究科、数学・統計学研究科、物理学・天文学研究科)	The University of Birmingham	0
ロシア	ブレカノフロシア経済アカデミー	Plekhanov Russian Academy of Economics	0
アメリカ合衆国	フロリダ大学（工学部・工学研究科）	University of Florida（College of Engineering, Graduate School of Engineering）	0

●地球環境学学・学舎

Graduate School of Global Environmental Studies

国名	協定校名（部局名）	協定校名（部局名） アルファベット表記	派遣人数
中国	大連理工大学	Dalian University of Technology	0
中国	中国人民大学環境・自然資源学院	The School of Environment & Natural Resources at Renmin University of China	0
カンボジア	王立農業大学	Royal University of Agriculture	0
インド	マドラス大学	University of Madras	0
タイ	コンケン大学	Khon Kaen University	0
タイ	マヒドン大学	Mahidol University	0
タイ	アジア工科大学（工業技術研究科、環境資源開発研究科、経営学研究科）	Asian Institute of Technology (School of Engineering and Technology, School of Environment, Resources and Development, School of Management)	0
ベトナム	ダナン工科大学	Danang University of Technology	0
ベトナム	ハノイ土木工科大学	Hanoi University of Civil Engineering	0
ベトナム	フエ農林業大学	Hue University of Agriculture and Forestry	0
ベトナム	ベトナム科学技術アカデミー	Vietnamese Academy of Science and Technology	0
ラオス	チャンパサック大学	Champasack University	0
マレーシア	マレーシア工科大学	Universiti Teknologi Malaysia	0
ドイツ	ドルトムント大学	The University of Dortmund	*3
ドイツ	カイザー・スラウテルン大学	Kaiserslautern University	*3
スウェーデン	チャルマーシュ工科大学	Chalmers University of Technology	0
連合王国	バーミンガム大学(化学研究科、コンピューター科学研究科、工学研究科、地理学・地球環境科学研究科、数学・統計学研究科、物理学・天文学研究科)	The University of Birmingham (School of Chemical Sciences, School of Computer Science, School of Engineering, School of Geography, Earth and Environmental Sciences, School of Mathematics and Statics, School of Physics and Astronomy)	0
カナダ	アルバータ大学農学・生命・環境学部	Faculty of Agricultural, Life and Environmental Science, University of Alberta	0

●経営管理教育部

Graduate School of Management

国名・地域	協定校名（部局名）	協定校名（部局名） アルファベット表記	派遣人数
タイ	アジア工科大学	Asian Institute of Technology（School of Management）	0
台湾	国立台湾大学	National Taiwan University（College of Management）	2
台湾	国立政治大学	National Chengchi University（College of Commerce）	2
ベトナム	ハノイ交通通信大学	University of Transport and Communications	0

●化学研究所

Institute for Chemical Research

国名・地域	協定校名（部局名）	協定校名（部局名） アルファベット表記	派遣人数
中国	中国科学院（化学研究所）	Chinese Academy of Sciences (Institute of Chemistry)	0
中国	中国科学院（上海光学精密機械研究所）	Chinese Academy of Sciences (Shanghai Institute of Optics & Fine Mechanics)	0
中国	華南理工大学材料科学与工程学院	College of Materials Science and Engineering, South China University of Technology	0
中国	香港大学数学科	Department of Mathematics, The University of Hong Kong	0
中国	華東理工大学(生物反応器工程国家重点実験室)	East China University of Science and Technology (State Key Laboratory of Bioreactor Engineering)	0
中国	上海交通大学材料科学与工程学院	School of Materials Science and Engineering, Shanghai Jiao Tong University	0
中国	中国科学院（プロセス工学研究所）	Chinese Academy of Sciences (Institute of Process Engineering)	0
中国	復旦大学（知的情報処理研究所）	Fudan University (Shanghai Key Lab of Intelligent Information Processing)	0
中国	香港中文大学（化学系）	The Chinese University of Hong Kong (Department of Chemistry)	0
インド	サハ核物理学研究所	Saha Institute of Nuclear Physics	0
大韓民国	ソウル大学校化学及び生物工学科ブレインコリア 21 化学工学分野	Brain Korea 21 Program in Chemical Engineering, School of Chemical and Biological Engineering, Seoul National University	0
大韓民国	梨花女子大学薬学部	College of Pharmacy, Ewha Womans University	0
大韓民国	高麗大学校生物工学研究所	Korea University (Institute of Biotechnology)	0

国名・地域	協定校名（部局名）	協定校名（部局名） アルファベット表記	派遣人数
大韓民国	浦項工科大学（浦項加速器研究所）	Pohang University of Science and Technology (Pohang Accelerator Laboratory)	0
大韓民国	スンキュンカン大学自然科学研究所	School of Natural Sciences, Sung Kyun Kwan University	0
大韓民国	国立金烏工科大学	Kumoh National Institute of Technology	0
大韓民国	大邱慶北科学技術院	Daegu Gyeongbuk Institute of Science and Technology	0
大韓民国	啓明大学伝統微生物資源開発センター	Tradeitonal Microorganism Resources Center, Keimyung University	0
タイ	スラナリー工科大学科学研究所	Institute of Science, Suranaree University of Technology	0
タイ	チェンマイ大学（理学部）	Chiang Mai University (Faculty of Science)	0
タイ	チュロンコン大学（薬学部）	Chulalongkorn University (Faculty of Pharmaceutical Sciences)	0
台湾	国立中山大学化学科	Department of Chemistry, National Sun Yat-Sen University	0
ブルガリア	ブルガリア化学工学大学	Higher Institute of Chemical Technology Sofia, Bulgalia	0
フランス	ボルドー凝縮物質化学研究所	Bordeaux Institute of Condensed Matter Chemistry	0
フランス	欧州連合高等教育交流計画	European Master Programme MaMaSELF: European Master in Materials Science Exploring Large Scale Facility	0
フランス	レンヌ第一大学（材料構造特性研究部）	Université de Rennes 1 (Unité Formation de Recherche-Structure et Propriétés de la Matière)	0
ドイツ	ベルリンシンクロトロン放射光電子蓄積リング研究所	Berliner Elektronenspeicherring-Gesellschaft für Synchrotronstrahlung	0
ドイツ	ブラウンシュバイク工科大学無機および分析化学研究所	Institut für Anorganische und Analytische Chemie, Technische Universität Carolo-Wilhelmina zu Braunschweig	0
ドイツ	マックスプランク原子核研究所	Max Planck Institute for Kernphysik	0
ドイツ	デュイスブルク大学（GH）（物理学部）	University of Duisburg (Faculty of Physics-Technology)	0
ドイツ	マインツ大学高分子研究領域及びマックスプランク高分子研究所	University of Mainz and Max-Planck Institute for Polymer Research	0
ドイツ	ユーリッヒ研究センター固体研究所	The Institute of Solid State Research, Juelich Research	0
ハンガリー	ハンガリー科学アカデミー（中央化学研究所）	The Hungarian Academy of Sciences (Central Research Institute for Chemistry)	0
ハンガリー	ハンガリー科学アカデミー（原子核研究所）	The Hungarian Academy of Sciences (Institute of Nuclear Research)	0
イタリア	ナポリフェデリコ II 世大学（化学工学部）	Department of Chemical Engineering, Università degli Studi di Napoli "Federico II", Italy (DIC-UNINA) (Department of Chemical Engineering)	0
イタリア	国立原子核物理研究機構（リニャーロ国立研究所）	Istituto Nazionale di Fisica Nucleare (Laboratori Nazionali di Legnaro)	0
イタリア	サッサリ大学（建築・設計学部）	University of Sassari (Department of Architecture and Planning)	0
スウェーデン	ストックホルム王立工科大学	Royal Institute of Technology (KTH)	0
スウェーデン	リンシェーピン大学	Linköping University	0
連合王国	リーズ大学（高分子学際科学研究所）	The University Leeds (Polymer Interdisciplinary Research Centre)	0
ロシア	ドブナ連合原子核研究所	Joint Institute for Nuclear Research, Dubna	0
ロシア	モスクワ物理工科大学	Moscow Engineering Physics Institute	0
アメリカ合衆国	ミネソタ大学（化学工学および物質科学科）	University of Minnesota (Department of Chemical Engineering and Materials Science)	0
アメリカ合衆国	カリフォルニア大学サンタバーバラ校（工学研究科）	College of Engineering, University of California, Santa Barbara	0
アメリカ合衆国	ミシガン大学（化学工学部）	University of Michigan (Department of Chemical Engineering)	0

●人文科学研究所

Institute for Research in Humanities

国名・地域	協定校名（部局名）	協定校名（部局名） アルファベット表記	派遣人数
大韓民国	東国大学校文化学院	Culture Research Institute, Dongguk University	0
台湾	中央研究院（歴史語言研究所）	Academia Sinica (Institute of History and Philology)	0
フランス	国際哲学コレージュ	International College of Philosophy	0
フランス	フランス政治学財団	The Fondation Nationale Des Sciences Politiques	0
フランス	ヨーロッパアジア研究コンソーシアム	European Consortium for Asian Field Study (ECAAF)	0
アメリカ合衆国	ハーバード燕京研究所	Harvard-Yenching Institute	0

●再生医科学研究所

Institute for Frontier Medical Sciences

国名	協定校名（部局名）	協定校名（部局名） アルファベット表記	派遣人数
中国	中国医科大学	China Medical University	0
中国	国立中国康復研究センター	The China Rehabilitation Research Center	0

●エネルギー理工学研究所

Institute for Advanced Energy

国名	協定校名（部局名）	協定校名（部局名） アルファベット表記	派遣人数
中国	科学アカデミー（高エネルギー物理研究所）	Academia Sinica (Institute of High Energy Physics)	0
中国	核工業原子能研究院	China Institute of Atomic Energy and Institute of Advanced Energy	0
中国	核工業西南物理研究院	Southwestern Institute of Physics	0
中国	北京科学技術大学（材料失効研究所）	University of Science and Technogy Beijing (Institute of Materials Failure)	0

◆ 派遣留学について

5. 部局間交流協定一覧（つづき）

国名	協定校名（部局名）	協定校名（部局名） アルファベット表記	派遣 人数
大韓民国	東義大学校（工科大学）	Dong-Eui University (Faculty of Engineering)	0
大韓民国	東義大学校（産学協力センター）	Dong-Eui University (Industry-University Cooperation Center)	0
大韓民国	基礎科学支援研究所	Korea Basic Science Institute	0
大韓民国	韓国国立核融合研究センター	The National Fusion Research Center (NFRC)	0
大韓民国	釜慶大学校（産業科学技術研究所）	Pukyong National University (Institute of Industrial Science and Technology)	0
タイ	ラジャマンガラ工科大学	Rajamangala University of Technogy	0
タイ	エネルギー環境合同大学院大学（JGSEE）	The Joint Graduate Scholl of Energy and Environment of King Mongkut's University of Technology Thonburi	0
オーストラリア	オーストラリア国立大学（プラズマ研究所）	Australian National University (Plasma Research Laboratory)	0
オーストラリア	南オーストラリアフリンダース大学	The Flinders University of South Australia	0
オーストラリア	シドニー大学（物理学研究科）	University of Sydney (School of Physics)	0
ドイツ	エアランゲン・ニュルンベルク大学（工学部材料科学科）	The University of Erlangen-Nurnberg (Department of Materials Science and Engineering)	0
イタリア	トリノ工科大学（材料科学及び化学工学科）	Politecnico di Torino (Materials Science and Chemical Engineering Department)	0
スロバキア共和国	スロバキア工業大学（電子工学・情報工学科）	Slovak University of Technology (Faculty of Electrical Engineering and Information Technology)	0
スペイン	国立エネルギー環境・技術研究所（CIEMAT）	Centro de Investigaciones Energéticas, Medioambientales y Tecnológicas	0
ロシア	ロシア科学センター（クルチャトフ研究所）	Russian Research Center (Kurchatov Institute)	0
ウクライナ	ウクライナ国立科学センター（ハリコフ理工学研究所プラズマ物理研究所）	National Science Center (Institute of Plasma Physics, Kharkov Institute of Physics and Technogy)	0
アメリカ合衆国	スタンフォード大学（ハンセン実験物理研究所自由電子レーザーセンター）	Stanford University (The Stanford Free Electron Laser Center at the Hansen Experimental Physics Laboratory)	0
アメリカ合衆国	カリフォルニア大学（ローレンスバークレー国立研究所ビーム物理学研究センター）	University of California (Center for Beam Physics, Lawrence Berkeley National Laboratory)	0
アメリカ合衆国	イリノイ大学（核融合研究所）	University of Illinois (Fusion Studies Laboratory)	0
アメリカ合衆国	ウイスコンシン大学マディソン校（核融合技術研究所）	University of Wisconsin-Madison (Fusion Technology Institute)	0
アメリカ合衆国	ウイスコンシン大学マディソン校（トルサトロン・ステラレータ研究センター）	University of Wisconsin-Madison (Torsatron/Stellarator Laboratory)	0
アメリカ合衆国	ローレンス・リバモア国立研究所	Lawrence Livermore National Laboratory (LLNL)	0

●生存圏研究所

Research Institute for Sustainable Humanosphere

国名	協定校名（部局名）	協定校名（部局名） アルファベット表記	派遣 人数
中国	南京林業大学	Nanjing Forestry University	0
中国	浙江林学院	Zhejiang Forestry University	0
インド	宇宙庁 国立大気科学研究所	National Atomospheric Research Laboratory, Department of Space	0
インドネシア	インドネシア航空宇宙庁	National Institute of Aeronautics and Space of the Republic of Indonesia	0
マレーシア	プトラ大学	University Putra Malaysia	0
マレーシア	マレーシア理科大学（生物学部）	University Sains Malaysia (School of Biological Sciences)	0
フィンランド	フィンランド技術研究所	VTT Technical Research Centre of Finland	0
ブルガリア	ブルガリア科学院（情報数理学部）	Bulgarian Academy of Sciences (Institute of Mathematics and Informatics)	0
フランス	フランス科学研究庁植物高分子研究所	Center National de la Recherche Scientifique (Centre de Recherches sur les Macromolécules Végétales)	0
カナダ	ヨーク大学地球惑星科学研究センター	The Centre for Research in Earth and Space Science (CRESS) of York University	0
アメリカ合衆国	オクラホマ大学（大気・地理学部）	The University of Oklahoma (The College of Atmospheric and Geographic Sciences)	0

●防災研究所

Disaster Prevention Research Institute

国名・地域	協定校名（部局名）	協定校名（部局名） アルファベット表記	派遣 人数
バングラデシュ	バングラデシュ工科大学（水・洪水管理研究所）	Bangladesh University of Engineering and Technology (The Institute of Water and Flood Management)	0
バングラデシュ	バングラデシュ国際下痢疾患研究センター（健康・人口研究センター）	International Center for Diarrheal Diseases Research, Bangladesh (Centre for Health and Population Research)	0
中国	北京師範大学（資源学院）	Beijing Normal University (College of Resources Science and Technology)	0
中国	中国科学院（寒区旱区環境與工程研究所）	Chinese Academy of Sciences (The Cold and Arid Regions Environmental and Engineering Research Institute)	0
中国	中国科学院（青藏高原研究所）	Chinese Academy of Sciences (The Institute of Tibetan Plateau Research)	0

国名・地域	協定校名（部局名）	協定校名（部局名） アルファベット表記	派遣 人数
中国	西南交通大学（土木工程学院）	Southwest Jiaotong University (School of Civil Engineering)	0
インド	ノースイースタンヒル大学地理学科	Department of Geography, North Eastern Hill University	0
インド	水資源開発管理センター	The Center for Water Resources Development and Management	0
インド	都市・建築大学	School of Planning and Architecture, New Delhi	0
インドネシア	エネルギー鉱物資源省地質学院	Geology Agency, Ministry of Energy and Mineral Resources of the Republic of Indonesia	0
インドネシア	インドネシア共和国水管理公団	The Jasa Tirta I Public Corporation, Republic of Indonesia	0
大韓民国	江原国立大学校（防災技術専門大学院）	Kangwan National University (The Professional Graduate School of Disaster Prevention Technology)	0
ネパール	トリブバン大学（工学研究科）	Tribhuvan University (The Institute of Engineering)	0
ベトナム	水資源大学	Water Resources University	0
台湾	台湾応用研究院（地震工学研究センター）	National Applied Research Laboratories (National Center for Research on Earthquake Engineering)	0
台湾	国立成功大学防災研究中心	The Disaster Prevention Research Center, Cheng-Kung University	0
オーストリア	国際応用システム分析研究所	International Institute for Applied Systems Analysis	0
フランス	国際連合教育科学文化機関	The United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization	0
フランス	国際連合教育科学文化機関（ユネスコ）、国際斜面災害研究機構（ICL）	The United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization, and the International Consortium on Landslides	0
イタリア	フローレンス大学（地球科学部）	University of Florence (Earth Sciences Department)	0
エジプト	アシュート大学（理学部）	Assiut University (Faculty of Science)	0
スロバキア共和国	コメニウス大学ブラチスラバ校（自然科学部）	Comenius University in Bratislava (Faculty of National Science)	0
連合王国	ノーザンブリア大学（応用科学部）	Northumbria University (The School of Applied Sciences)	0
カナダ	巨大災害軽減研究所	Institute for Catastrophic Loss Reduction	0
アメリカ合衆国	太平洋地震工学センター	Pacific Earthquake Engineering Research Center	0
アメリカ合衆国	南カリフォルニア地震センター	The Southern California Earthquake Center	0
アメリカ合衆国	オクラホマ大学 大気・地理学部	The University of Oklahoma (The College of Atmospheric and Geographic Sciences)	0

●基礎物理学研究所

Yukawa Institute for Theoretical Physics

国名	協定校名（部局名）	協定校名（部局名） アルファベット表記	派遣 人数
大韓民国	アジア太平洋理論物理学センター	Asia Pacific Center for Theoretical Physics	0
大韓民国	大韓民国高等研究所	Korean Institute for Advanced Study	0
イタリア	先端高等国際研究所	The International School for Advanced Studies	0

●経済研究所

Institute of Economic Research

国名	協定校名（部局名）	協定校名（部局名） アルファベット表記	派遣 人数
大韓民国	ソウル大学校経済研究所	Institute of Economic Research, Seoul National University	0
フィンランド	経済研究ヘルシンキセンター	Helsinki Center of Economic Research	0
フランス	パリ第一大学国立科学研究センターソルボンヌ経済研究所	Centre d'Economie de la Sorbonne, University Paris 1, CNRS	0
フランス	エックス・マルセイユ経済計量研究所（国立科学研究所、社会科学高等研究所、エックス・マルセイユ大学Ⅱ、Ⅲ）	Groupeement de Recherche en Economie Quantitative d'Aix-Marseille, (Centre National de la Recherche Scientifique, L'Ecole des Hautes Etudes en Sciences Sociales, University of Aix-Marseille II and III)	0
ロシア	ロシア国立高等経済大学院	Higher School of Economics	0
アメリカ	ノースカロライナ大学チャペルヒル校	The University of North Carolina at Chapel Hill	0

●数理解析研究所

Research Institute for mathematical Sciences

国名	協定校名（部局名）	協定校名（部局名） アルファベット表記	派遣 人数
大韓民国	大韓民国高等研究所	Korea Institute for Advanced Study	0
大韓民国	ソウル国立大学校数理科学科	Department of Mathematical Sciences, Seoul National University	0
カナダ	太平洋数理科学研究所	Pacific Institute for the Mathematical Sciences	0

●原子炉実験所

Research Reactor Institute

国名	協定校名（部局名）	協定校名（部局名） アルファベット表記	派遣 人数
中国	中国科学院（プラズマ物理研究所）	Academia Sinica (The Institute of Plasma Physics)	0
中国	中国原子能科学研究院（核物理研究所）	China Institute of Atomic Energy (Department of Nuclear Physics)	0
中国	西安交通大学（エネルギー動力工学部）	Xi'an Jiaotong University (Energy and Power Engineering College)	0
大韓民国	朝鮮大学校（工学研究科）	Chosun University (College of Engineering)	0
大韓民国	韓国原子力研究所（高中性子束利用研究炉研究センター）	Korea Atomic Energy Research Institute (HANARO Application Research Center)	0
大韓民国	漢陽大学校（工学部）	Hanyang University (College of Engineering)	0
大韓民国	慶熙大学校（テクノ工学大学）	Kyung Hee University (College of Advanced Technology)	0

◆ 派遣留学について

5. 部局間交流協定一覧（つづき）

国名	協定校名（部局名）	協定校名（部局名） アルファベット表記	派遣 人数
大韓民国	ポーンハン科学技術大学（物理部）	Pohang University of Sciences and Technology (Physics Department)	0
大韓民国	済州大学校（工学部）	Cheju National University	0
大韓民国	ソウル大学校（工学部）	Seoul National University (College of Engineering)	0
大韓民国	韓国科学技術院（工学部）	Korea Advanced Institute of Science and Technology (College of Engineering,)	0
大韓民国	東国大学校（エネルギー・環境学部）	Dongguk University (College of Energy and Environment)	0
ブルガリア	ブルガリア科学アカデミー（核科学研究所）	Bulgarian Academy of Science (Institute for Nuclear Reserch and Nuclear Energy)	0
フランス	フランス原子力庁	Commissariat a l'Energie Atomique	0
オランダ	デルフト工科大学（原子炉実験所）	Delft University of Technology (The Interfaculty Reactor Institute)	0
スウェーデン	チャルマース工科大学	Chalmers University of Technology	0
カナダ	マクマスター大学（工学部）	McMaster University (The Faculty of Engineering)	0
アメリカ合衆国	マサチューセッツ工科大学（原子炉実験所）	Massachusetts Institute of Technology (Nuclear Reactor Laboratory)	0
アメリカ合衆国	オハイオ州立大学（原子炉研究所）	The Ohio State University (Nuclear Reactor Laboratory)	0
アメリカ合衆国	カリフォルニア大学バークレー校（工学部）	University of California, Berkeley (The College of Engineering)	0
アメリカ合衆国	ミシガン大学（フェニックス原子炉実験所）	University of Michigan (The Phoenix Research Reactor Laboratory)	0
アメリカ合衆国	ミズーリ大学（研究用原子炉施設）	University of Missouri (Research Reactor Facility)	0
アメリカ合衆国	ロードアイランド大学（総合科学部）	University of Rhode Island (College of Arts and Sciences)	0
アルゼンチン	クヨ大学（バルセイロ研究所）	La Universidad Nacional de Cuyo (El Instituto Balseiro)	0

● 霊長類研究所

Primate Research Institute

国名・地域	協定校名（部局名）	協定校名（部局名） アルファベット表記	派遣 人数
インドネシア	アンダラス大学（理学部生物学科）	Andalas University (Department of Biology, Faculty of Mathematics and Natural Sciences)	0
インドネシア	ボゴール農科大学（霊長類研究センター）	Bogor Agricultural University (Primate Research Center)	0
大韓民国	韓国国立霊長類センター	Korea National Primate Reserch Center (KNPRC)	0
大韓民国	釜山大学（理学部）	Pusan National University, College of Natural Science (PNUCNS)	0
大韓民国	釜山大学（薬学部）	Pusan National University, College of Pharmacy (PNUCP)	0
タイ	タイ王国動物園協会	The Zoological Park Organization, Thailand	0
ラオス	ラオス国立大学（理学部）	National University of Laos (Faculty of Science)	0
ミャンマー	ヤンゴン大学	University of Yangon	0
スリランカ	スリジャヤワルデネプラ大学（社会学・人類学教室）	University of Sri Jayawardenepura (Faculty of Arts, Department of Sociology and Anthropology)	0
ベトナム	サイゴン動植物園	Saigon Zoo and Botanical Gardens	0
台湾	国立屏東科技大学（野生動物保全学研究所）	Institute of Wildlife Conservation National Pingtung University of Science and Technology	0
ギニア	ギニア科学技術庁	La Direction Nationale de la Recherche Scientifique et Technique	0
ギニア	ボッソウ環境研究所	L'Institut de Recherche Environnementale de Bossou (IREB)	0

● 東南アジア研究所

Center for Southeast Asian Studies

国名・地域	協定校名（部局名）	協定校名（部局名） アルファベット表記	派遣 人数
バングラデシュ	バングラデシュ国際下痢症研究センター	International Centre for Diarrheal Diseases Research, Bangladesh	0
インドネシア	ボゴール農科大学	Bogor Agricultural University	0
インドネシア	チェンデラウシ大学	Cenderawasih University	0
インドネシア	ハサヌディン大学（大学院プログラム及び研究機構）	Hasanuddin University (Research Institute and Graduate Programs)	0
インドネシア	インドネシア科学院	The Indonesian Institute of Sciences (LIPI)	0
インドネシア	インドネシア国立地理調査機構	National Coordination Agency for Surveys and Mapping	0
インドネシア	国立イスラーム大学（注1）	National Islamic University	0
インドネシア	スルタン・アグン・ティルタヤサ大学	Sultan Ageng Tirtayasa University	0
インドネシア	アンダラス大学（医学部） アンダラス大学（理学部）	Faculty of Medicine, Andalas University Faculty of Pharmacy, Andalas University	0
ネパール	トリブバン大学ネパール・アジア研究所	Centre for Nepal and Asian Studies, Tribhuvan University	0
韓国	韓国東南アジア研究所	Korean Institute of Southeast Asian Studies	0
ラオス	ラオス国立大学	National University of Laos	0
ミャンマー	イエジン農科大学	Yezin Agricultural University	0
ミャンマー	東南アジア教育省組織歴史伝統地域センター	The SEAMEO Regional Centre for History and Tradition	0
フィリピン	フィリピン大学（総合開発研究センター）	University of the Philippines	0
シンガポール	シンガポール国立大学（人文社会科学学部）	National University of Singapore	0

国名・地域	協定校名（部局名）	協定校名（部局名） アルファベット表記	派遣 人数
タイ	プリンス・オブ・ソンクラ大学（理学部）	Prince of Songkla University	0
タイ	コンケン大学医学部	Faculty of Medicine, Khon Kaen University	0
ベトナム	ハノイ農業大学	Hanoi Agricultural University	0
ベトナム	ベトナム社会科学アカデミー・北東アジア研究所	Institute for Northeast Asian Studies, Vietnamese Academy of Social Sciences	0
ベトナム	ベトナム社会科学アカデミー南部持続的発展院	The Southern Institute of Sustainable Development, Vietnam Academy of Social Sciences	0
台湾	アカデミア・シニカ（台湾中央研究院）人文社会科学 科学研究センターアジア太平洋地域研究センター	Center for Asia-Pacific Area Studies, Research Center for Humanities and Social Sciences, Academia Sinica, Taiwan	0
エジプト・アラブ共和国	カイロ大学	Cairo University	0

(注1) アジア・アフリカ地域研究研究科、東南アジア研究所、国立イスラーム大学の3者が協定を結んでいる

● 生態学研究センター

Center for Ecological Research

国名	協定校名（部局名）	協定校名（部局名） アルファベット表記	派遣 人数
モンゴル	モンゴル科学アカデミー 地球生態学研究所	Institute of Geoecology, Mongolian Academy of Sciences	0
イタリア	トリノ大学（植物生物学部）	University of Turin (Department of Plant Biology)	0

● 高等教育研究開発推進センター

Center for the promotion of excellence in higher Education

国名	協定校名（部局名）	協定校名（部局名） アルファベット表記	派遣 人数
マレーシア	マレーシாமルチメディア大学（情報学部）	Malaysia Multimedia University (Faculty Of Information Technology)	0

● 産官学連携センター

Innovative Collaboration Center

国名	協定校名（部局名）	協定校名（部局名） アルファベット表記	派遣 人数
中国	清華大学（国際技術移転センター）	Tsinghua University (International Technology Transfer Center)	0

● フィールド科学教育研究センター

Field Science Education and Research Center

国名	協定校名（部局名）	協定校名（部局名） アルファベット表記	派遣 人数
大韓民国	慶州大学校（緑地環境研究所）	Gyeongju University (Institute of Openspace and Environment)	0
マレーシア	サバ大学ボルネオ海洋研究所	Borneo Marine Research Institute, University Malaysia Sabah, Malaysia	0

● アフリカ地域研究資料センター

Center for African Area Studies

国名	協定校名（部局名）	協定校名（部局名） アルファベット表記	派遣 人数
コンゴ共和国	コンゴ共和国政府	Government of the Republic of Congo	0
コンゴ民主共和国	人文科学研究センター	Centre de Recherche en Sciences Humaines	0
コンゴ民主共和国	自然科学研究センター	Centre de Recherche en Sciences Naturelles	0
コンゴ民主共和国	保健科学研究所	Institute de Recherche en Sciences de la Sante	0
エチオピア	アジスアベバ大学（社会科学部）	Addis Ababa University	0
エチオピア	アジスアベバ大学エチオピア研究所	Institute of Ethiopian Studies (IES) , Addis Ababa University	0
ガボン共和国	ガボン科学技術研究センター	Centre National de la Recherche Scientifique et Technologique	0
ケニア	ナイロビ大学（アフリカ研究所）	University of Nairobi	0
マダガスカル	マダガスカルチンバザザ動植物園	Parc Botanique et Zoologique de Tsimbazaza	0
ウガンダ	マケレレ大学（社会科学部）	Makerere University	0
タンザニア	ソコイネ農業大学（農学部）	Sokoine University of Agriculture	0
ザンビア	ザンビア大学	University of Zambia	0
フランス	フランス科学院（言語口承文化研究所）	Centre National de la Recherche Scientifique (CNRS)	0
アメリカ合衆国	フロリダ大学（アフリカ地域センター）	University of Florida	0

● 地域研究統合情報センター

Center for Integrated Area Studies

国名・地域	協定校名（部局名）	協定校名（部局名） アルファベット表記	派遣 人数
インドネシア	国際森林研究センター	The Center for International Forestry Research	0
インドネシア	スルタン・アグン・ティルタヤサ大学	Sultan Ageng Tirtayasa University	0
ネパール	トリブバン大学ネパール・アジア研究所	Centre for Nepal and Asian Studies, Tribhuvan University	0
ラオス	ラオス国立大学	National University of Laos	0
台湾	アカデミア・シニカ（台湾中央研究院）、人文社会科学 研究センター、アジア太平洋地域研究センター	Center for Asia-Pacific Area Studies, Research Center for Humanities and Social Sciences, Academia Sinica, Taiwan	0
オランダ	トロペンボス・インターナショナル	Tropenbos International	0
ペルー	ペルー問題研究所	Instituto de Estudios Peruanos (Institute of Peruvian Studies)	0

1. 全般的な情報

日本学生支援機構（JASSO）	www.jasso.go.jp
UNESCO 各国の教育情報	www.unesco.org/iau/onlinedatabases/index.html
各国の大学情報	www.braintrack.com/index.htm
外務省 在日外国公館	www.mofa.go.jp/mofaj/link/emblist
外務省 在外日本公館	www.mofa.go.jp/mofaj/link/zaigai

3. 奨学金・ローン

JASSO による奨学金情報	www.jasso.go.jp/study_a/scholarships.html
公益財団法人 助成財団センターによる「助成財団要覧－民間助成金ガイド」	www.jfc.or.jp/
雇用・能力開発機構による「財形教育融資」	www.ehdo.go.jp/zaikei
UNESCO Study Abroad	www.unesco.org/education/studyingabroad
京都大学ウェブサイト「海外へ留学する日本人学生向奨学金」	www.kyoto-u.ac.jp/ja/education/international/students3/guide/scholarship/index.htm

4. 主な語学・学力テスト

財団法人フランス語教育振興協会	http://apefdapf.org/
DELF/DALF（仏語）	http://www.ciep.fr/delfdalf/
英語圏語学・留学系資格試験一覧	http://ac.prometric-jp.com/
IELTS（英語）	www.britishcouncil.org/jp/japan.htm
TOEFL（米語）	www.cieej.or.jp/
HSK（中国語）	www.jyda-ie.or.jp/hsk/top.htm
GOETHE-INSTITUT 京都（独語）	www.goethe.de/os/kyo/jpspruef.htm

5. 海外安全・生活情報

外務省海外安全相談センター	www.anzen.mofa.go.jp
インターネットによる在留届	www.ezairyu.mofa.go.jp
国際協力機構（JICA）国別生活情報	www.jica.go.jp/seikatsu/index.html
厚生労働省検疫所	www.forth.go.jp
留学生交流「きょうと」	www.suishinkyo.kokusai.kyoto-u.ac.jp/

6. ボランティア・インターンシップ留学

国際協力機構（JICA）院生用インターンシッププログラム	www.jica.go.jp/recruit/intern/index.html
青年海外協力隊（JOCV）	www.jica.go.jp/activities/jocv/
国連ボランティア計画（UNV）	www.unv.or.jp/
国際ボランティアプロジェクト	www.cieej.or.jp/exchange/ivp/index.html
AISEC（アイセック）京都大学委員会	www.aiesec.jp/kyoto
IAESTE（イアエステ）	www.iaeste.or.jp/jp/
日欧産業協力センター	www.eu-japan.gr.jp/japanese
（社）日本ワーキングホリデー協会（JAWHM）	www.jawhm.or.jp/
外務省 ワーキングホリデーのトラブル事例と安全対策	www.anzen.mofa.go.jp/c_info/working.html

7. その他

和⇄英辞書サイト	www.alc.co.jp/
簡易翻訳サイト	babelfish.altavista.com/